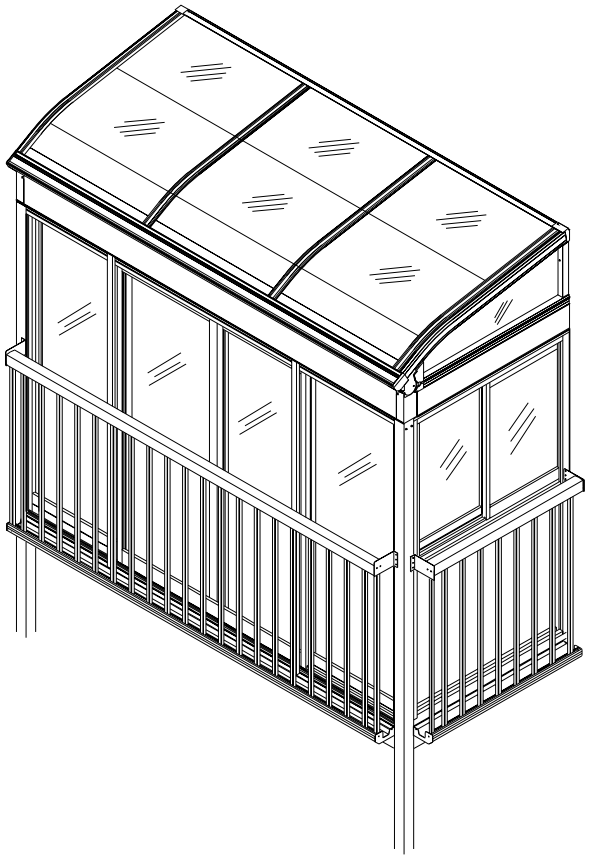
マニュアル 番号	ME-1592

改－2

テラス囲い

快晴気分

組立施工マニュアル



＜目次＞

- 販売店・工事店様へのお願い ・・・・P 1
- 規格寸法表図 ・・・・P 2 ～ 5
- ガラス寸法 ・・・・P 6
- 梱包明細書 ・・・・P 7 ～ 9
- 加工図 ・・・・P 10 ～ 12
- 部品取付図 ・・・・P 13・14
- 組立手順 ・・・・P 15 ～ 26
- 基本断面図 ・・・・P 27 ～ 32

販売店・工事店様へのお願い

● 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
⚠注意	使用者がこの表示を無視して取り扱うと人的、物的損害の予想されることを示します。

⚠注意

- 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
- 商品は、建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。
  シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、躯体へのコーチスクリューや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。
  また、プラグ類をモルタルやサイディング等、部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 材料を継ぎたす等の改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 屋根部への積雪が50cmを越える地域に使用することはお避けください。
- 設置場所等で、地盤から高く、強風を受ける場所への設置は、事前に弊社営業所にご相談ください。
- 居室としての目的で使用することは、お避けくだい。

お願い

- 本説明書の他にバルコニー7型、ファインテラス施工マニュアルの内容を確認後、施工してください。
- 施工前に下記内容を確認してください。
  ＊根太掛け、垂木掛け、縦枠を取付ける箇所での柱、間柱、胴差しなどの有無。(壁面の下地調整の有無)
  ＊柱の基礎コンクリート打ちスペースの有無及び柱の基礎埋め込み寸法の有無。
- 施工を始めてから手直しが出ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。
  特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了した後養生テープをはがしてください。
- この商品の勝手は、外観視 右勝手・左勝手となっております。
- 建物に取付ける部材・部品は、建物の柱・間柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ていないと、取付かない場合があります。
  また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険ですので注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。
  建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。
- 木造納まりを標準としていますので現場に応じて対処願います。

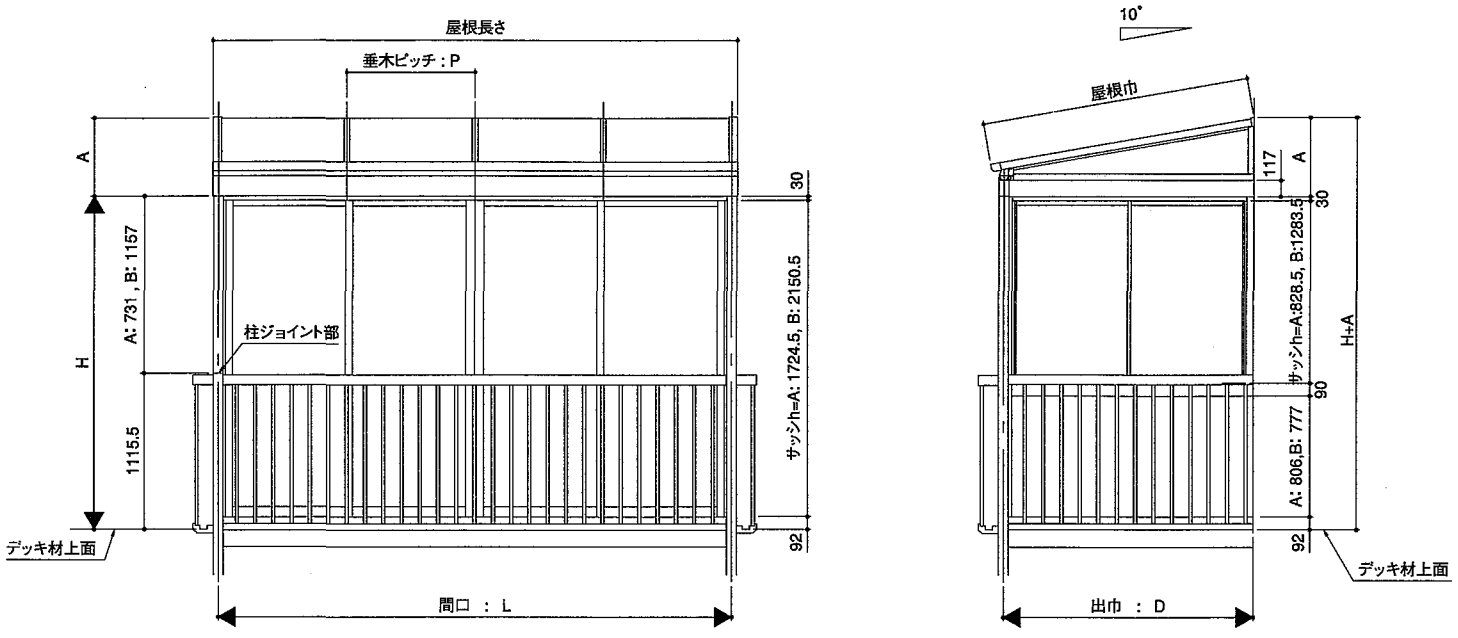
● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

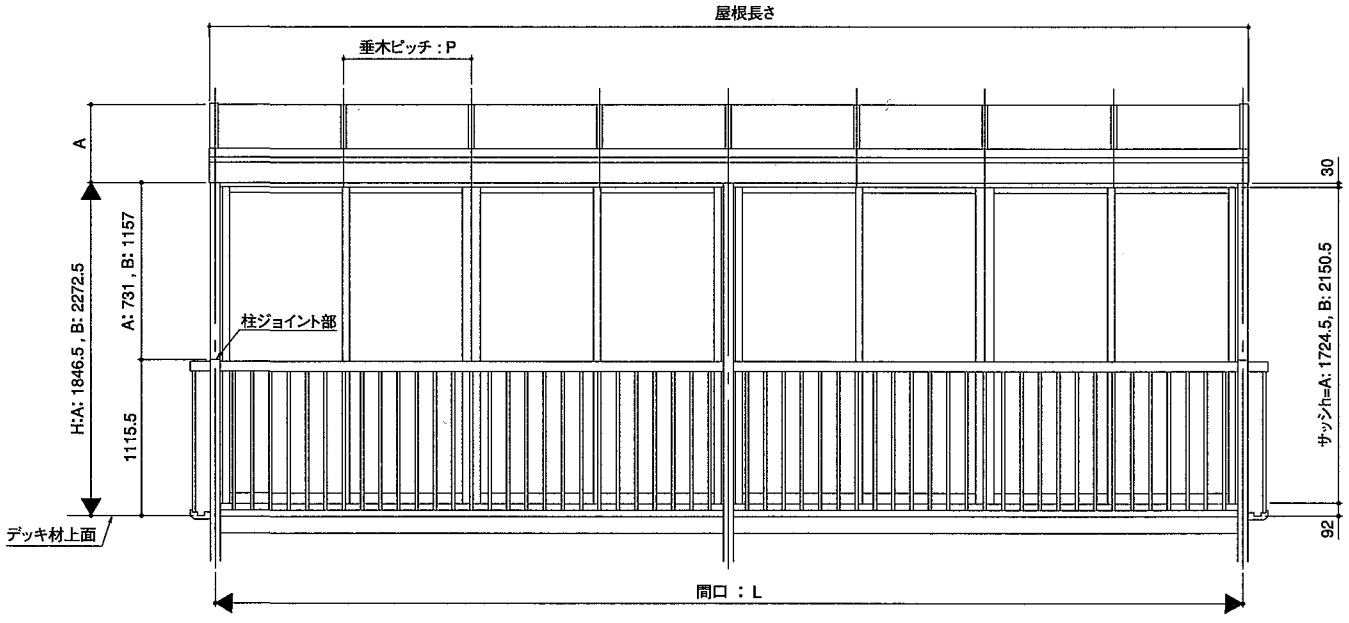
- アルミ製品と 銅板やラス等 の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。
- 輸入木材 には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。
- モルタル用に 海砂 を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりまので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- モルタルやコンクリートの 抽出液 が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。
  抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。
- モルタルやコンクリートの 凝結材 は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に 付着 したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。
  また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。
- 腐蝕の恐れのある 接着材や科学薬品 を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■ F型（一般タイプ）規格寸法図

●単体姿図



●連棟姿図

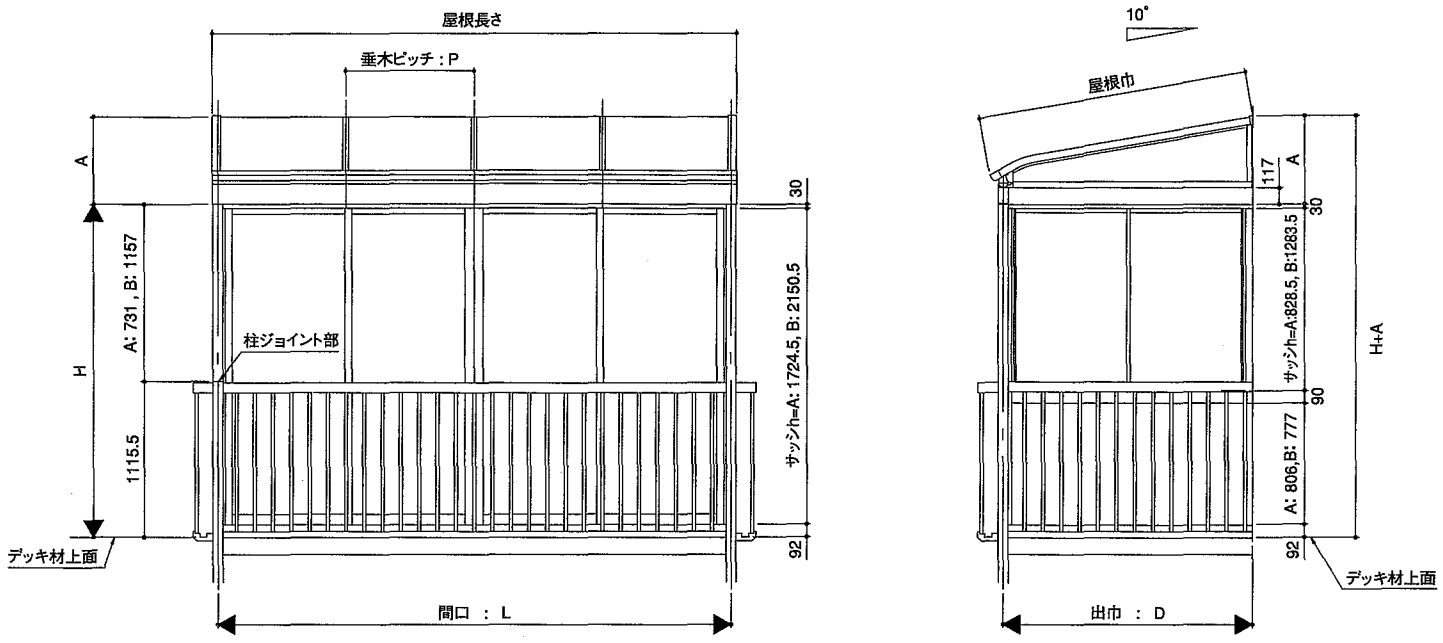


■ F型（一般タイプ）規格寸法表

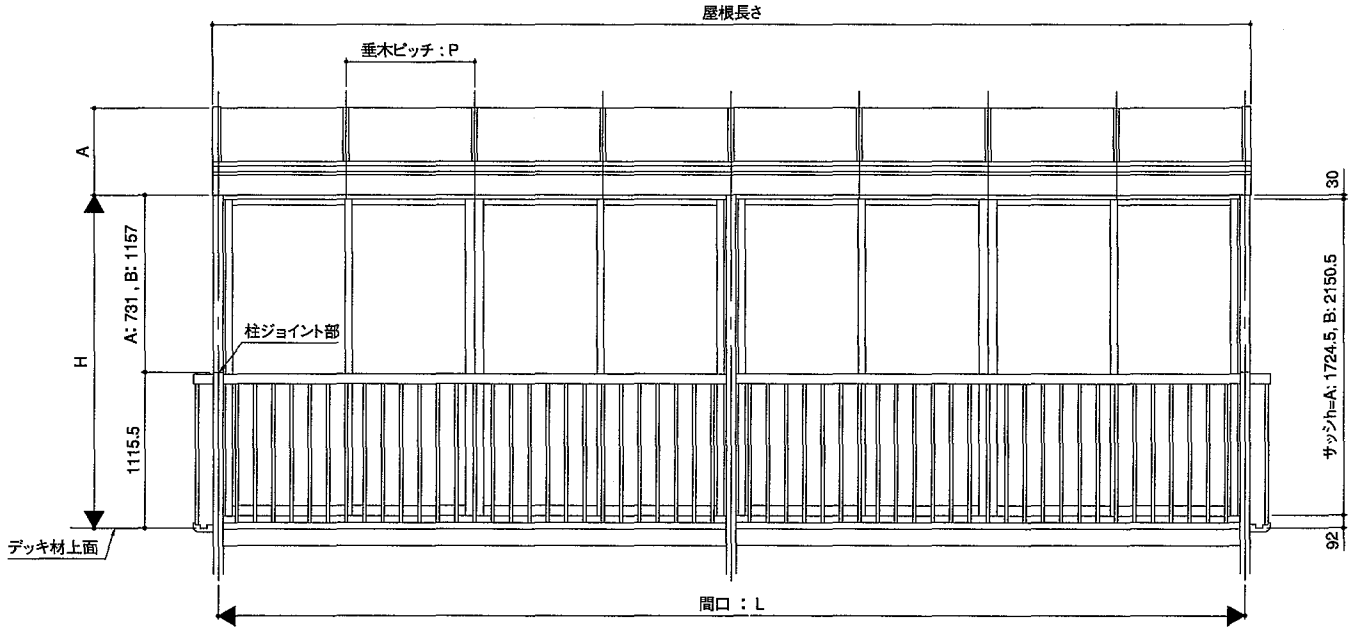
	関東間 1.0 間	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間	関東間 3.0 間	関東間 3.5 間	関東間 4.0 間
屋根長さ	1906	2815	3724	4641	5550	6459	7368
屋根巾	4 尺：1280 , 6 尺：1889						
L	1826	2735	3644	4561	5470	6379	7288
D	4 尺：1165 , 6 尺：1765						
H	A：1846.5, B：2272.5						
A	A：460, B：566						
H+A	A4尺：2306.5, A6尺：2412.5, B4尺：2732.5, B6尺：2838.5						
P	911						

■ R型（一般タイプ）規格寸法図

●単体姿図



●連棟姿図

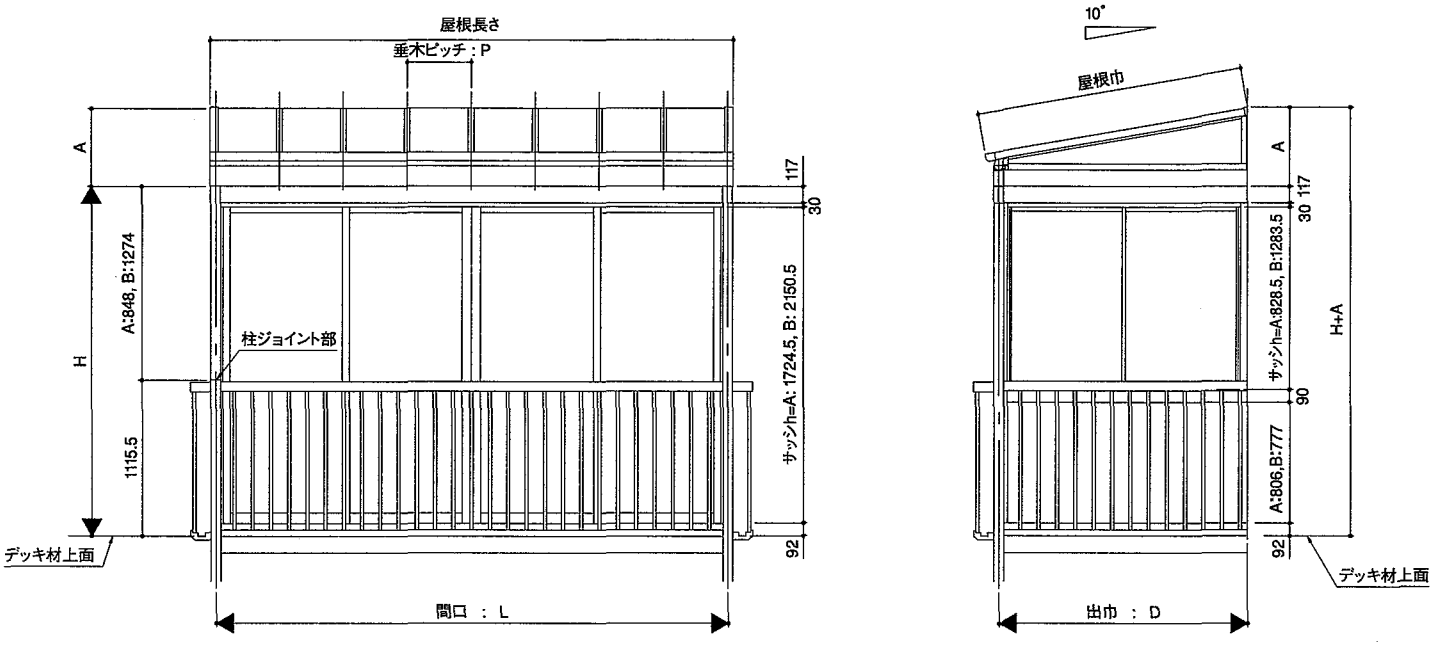


■ R型（一般タイプ）規格寸法表

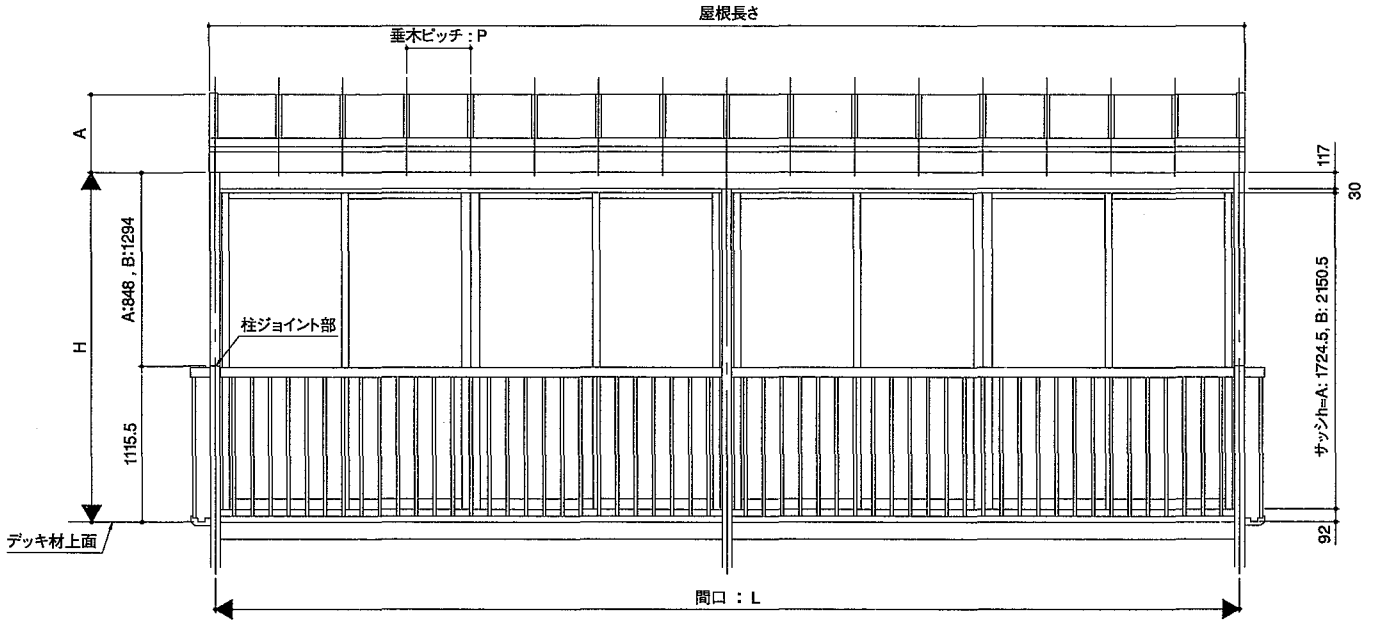
	関東間 1.0 間	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間	関東間 3.0 間	関東間 3.5 間	関東間 4.0 間
屋根長さ	1906	2815	3724	4641	5550	6459	7368
屋根巾	4 尺：1293 , 6 尺：1902						
L	1826	2735	3644	4561	5470	6379	7288
D	4 尺：1165 , 6 尺：1765						
H	A：1846.5, B：2272.5						
A	A：526, B：632						
H+A	A4尺：2372.5, A6尺：2478.5, B4尺：2798.5, B6尺：2904.5						
P	911						

■ F型（積雪タイプ）規格寸法図

●単体姿図



●連棟姿図

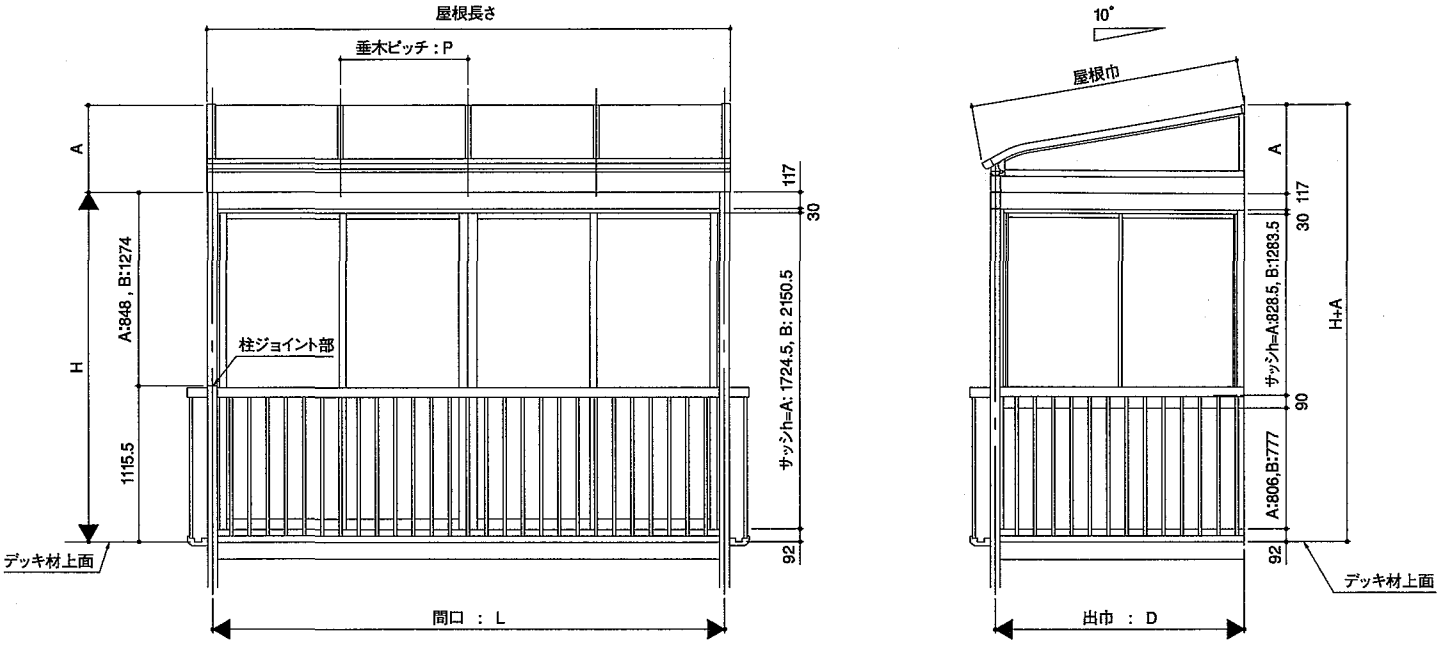


■ F型（積雪タイプ）規格寸法表

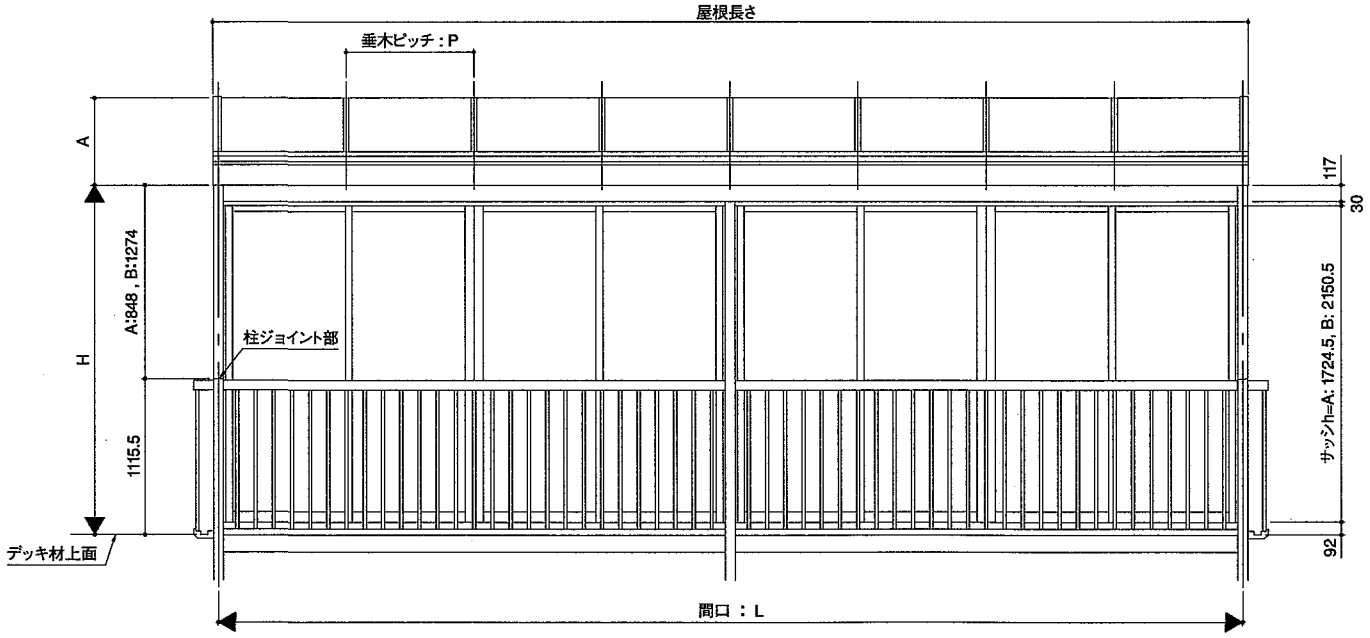
	関東間 1.0 間	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間	関東間 3.0 間	関東間 3.5 間	関東間 4.0 間
屋根長さ	1906	2815	3724	4641	5550	6459	7368
屋根巾	4 尺 : 1280 , 6 尺 : 1889						
L	1826	2735	3644	4561	5470	6379	7288
D	4 尺 : 1165 , 6 尺 : 1765						
H	A : 1963.5, B : 2389.5						
A	A : 460, B : 566						
H+A	A4尺 : 2423.5, A6尺 : 2529.5, B4尺 : 2849.5, B6尺 : 2955.5						
P	455.5						

■ R型（積雪タイプ）規格寸法図

●単体姿図



●連棟姿図

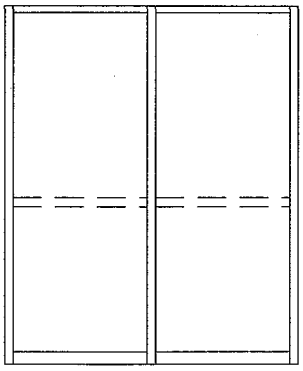


■ R型（積雪タイプ）規格寸法表

	関東間 1.0 間	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間	関東間 3.0 間	関東間 3.5 間	関東間 4.0 間
屋根長さ	1906	2815	3724	4641	5550	6459	7368
屋根巾	4 尺：1293，6 尺：1902						
L	1826	2735	3644	4561	5470	6379	7288
D	4 尺：1165，6 尺：1765						
H	A：1963.5，B：2389.5						
A	A：526，B：632						
H+A	A4尺：2489.5，A6尺：2595.5，B4尺：2915.5，B6尺：3021.5						
P	911						

■ ガラス寸法

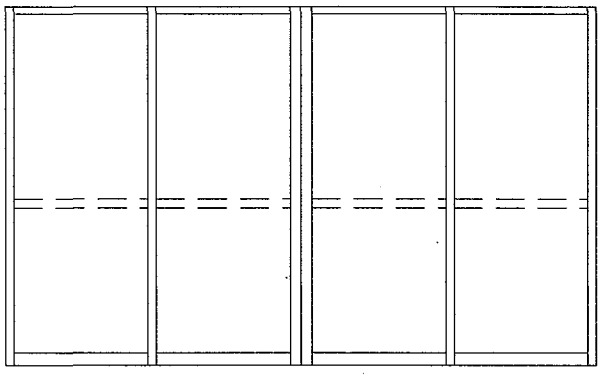
●前面障子



1.0間

	中桟無し	中桟付き
H：17	820x1653x2枚	820x808x2枚
		820x797x2枚
H：22	800x2006x2枚	—
		—

注）H：22で中桟を使用する場合は、中桟取付け用孔加工が必要です。
中桟位置に合わせてガラスを手配してください。



1.5間

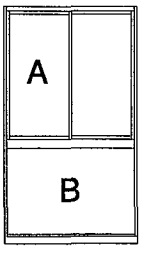
	中桟無し	中桟付き
H：17	609x1653x4枚	609x808x4枚
		609x797x4枚
H：22	589x2006x4枚	—
		—

2.0間

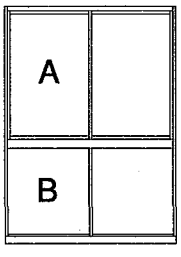
	中桟無し	中桟付き
H：17	836x1653x4枚	836x808x4枚
		836x797x4枚
H：22	816x2006x4枚	—
		—

注）H：22で中桟を使用する場合は、中桟取付け用孔加工が必要です。
中桟位置に合わせてガラスを手配してください。

●奥行障子



4尺



6尺

	A：高 窓		B:嵌殺し窓	
	4尺	6尺	4尺	6尺
H：17	497x776x2枚	797.5x776x2枚	1068x820x1枚	819x820x2枚
H：22	492x1231x2枚	792x1231x2枚	1068x791x1枚	819x791x2枚

製品名称			製品記号	梱包内容	
前面材	1.0間	H:17	○ JBDY10A	上枠 L=1755 1本 , 下枠 L=1755 1本 下胴縁受け L=1755 1本 たて枠 L=1795.5 左右各1本 水切 L=1946 1本 , 格子 L=1021 2本	(セット部品 SE-1364-04、SG-1024-01) ・上枠ストッパー① ・下枠ストッパー ① ・下胴縁受小口フタ ② ・笠木ブラケット(柱) ②・笠木取付金具 ② ・ビスカバー ② ・M5ターンナット ⑤ ・M5X20トラス小ネジ ⑤ ・シリコンチューブ ① ・施工マニュアル ① ・φ4X16ナベテクス ㉞ ・φ4X16皿テクス ㉚ ・φ4X35ナベテクス ⑥ ・φ5X16ナベテクス ⑤ ・φ4X20ナベビス ④ ・φ4X10ナベビス ⑤ ・φ5.1X70木ネジ ⑥ ・後付ビード L=870 ② ・φ4X25皿テクス ⑩
		H:22	○ JBDY10B	上枠 L=1755 1本 , 下枠 L=1755 1本 下胴縁受け L=1755 1本 たて枠 L=2221.5 左右各1本 水切 L=1946 1本 , 格子 L=1021 2本	
	1.5間	H:17	○ JBDY15A	上枠 L=2664 1本 , 下枠 L=2664 1本 下胴縁受け L=2664 1本 , 水切 L=2855 1本 たて枠 L=1795.5 左右各1本 格子 L=1021 2本 , サポート柱 L=1885.5 2本	(セット部品 SE-1364-05、SG-1024-02) ・上枠ストッパー② ・下枠ストッパー ② ・下胴縁受小口フタ ② ・笠木ブラケット(柱) ②・笠木取付金具 ② ・ビスカバー ② ・根太掛けブラケット ②・サポート柱上部ブラケット ② ・サポート柱ブラケット② ・φ4X16ナベタッピン2種 ④ ・M5ターンナット ⑩ ・M5X20トラス小ネジ ⑩ ・シリコンチューブ ① ・施工マニュアル ① ・φ4X16ナベテクス ㊹ ・φ4X16皿テクス ㉞ ・φ4X35ナベテクス ⑩ ・φ5X16ナベテクス ⑤ ・φ4X20ナベビス ④ ・φ4X10ナベビス ⑤ ・φ5.1X70木ネジ ⑧ ・後付ビード L=870 ③ ・φ4X25皿テクス ⑭
		H:22	○ JBDY15B	上枠 L=2664 1本 , 下枠 L=2664 1本 下胴縁受け L=2664 1本 , 水切 L=2855 1本 たて枠 L=2221.5 左右各1本 格子 L=1021 2本 , サポート柱 L=2311.5 2本	
	2.0間	H:17	○ JBDY20A	上枠 L=3573 1本 , 下枠 L=3573 1本 下胴縁受け L=3573 1本 , 水切 L=3764 1本 たて枠 L=1795.5 左右各1本 格子 L=1021 2本 , サポート柱 L=1885.5 2本	(セット部品 SE-1364-06、SG-1024-03) ・上枠ストッパー② ・下枠ストッパー ② ・下胴縁受小口フタ ② ・笠木ブラケット(柱) ②・笠木取付金具 ② ・ビスカバー ② ・根太掛けブラケット ②・サポート柱上部ブラケット ② ・サポート柱ブラケット② ・φ4X16ナベタッピン2種 ④ ・M5ターンナット ⑪ ・M5X20トラス小ネジ ⑪ ・シリコンチューブ ① ・施工マニュアル ① ・φ4X16ナベテクス ㊻ ・φ4X16皿テクス ㊳ ・φ4X35ナベテクス ⑬ ・φ5X16ナベテクス ⑤ ・φ4X20ナベビス ④ ・φ4X10ナベビス ⑤ ・φ5.1X70木ネジ ⑩ ・後付ビード L=870 ④ ・φ4X25皿テクス ⑱
		H:22	○ JBDY20B	上枠 L=3573 1本 , 下枠 L=3573 1本 下胴縁受け L=3573 1本 , 水切 L=3764 1本 たて枠 L=2221.5 左右各1本 格子 L=1021 2本 , サポート柱 L=2311.5 2本	
前面障子	1.0間	H:17	○ JBFH10A	上框 L=856 2本 , 内外下框 L=877.5 各1本 縦框(左) L=1768.5 1本 , 縦框(右) L=1745.5 1本 内召合框 L=1745.5 1本 , 外召合框 L=1768.5 1本	(セット部品 SB-3-12) ・φ4x35ナベビス ⑧ ・ビス孔フサギ ②
		H:22	○ JBFH10B	上框 L=858 2本 , 内外下框 L=885 各1本 縦框(左) L=2194.5 1本 , 縦框(右) L=2171.5 1本 内召合框 L=2171.5 1本 , 外召合框 L=2194.5 1本	(セット部品 SB-3-12) ・φ4x35ナベビス ⑧ ・ビス孔フサギ ②
	1.5間	H:17	○ JBFH15A	上框 L=644.5 4本 , 内外下框 L=666 各2本 縦框(左/右) L=1768.5 各1本 , 内召合框 L=1745.5 2本 外召合框 L=1768.5 2本 , 突合せ框 L=1745.5 2本	(セット部品 SB-3-12) x2セット ・φ4x35ナベビス ⑧ x2 ・ビス孔フサギ ② x2
		H:22	○ JBFH15B	上框 L=646.5 4本 , 内外下框 L=673.5 各2本 縦框(左/右) L=2194.5 各1本 , 内召合框 L=2171.5 2本 外召合框 L=2194.5 2本 , 突合せ框 L=2171.5 2本	(セット部品 SB-3-12) x2セット ・φ4x35ナベビス ⑧ x2 ・ビス孔フサギ ② x2
	2.0間	H:17	○ JBFH20A	上框 L=871.5 4本 , 内外下框 L=893 各2本 縦框(左/右) L=1768.5 各1本 , 内召合框 L=1745.5 2本 外召合框 L=1768.5 2本 , 突合せ框 L=1745.5 2本	(セット部品 SB-3-12) x2セット ・φ4x35ナベビス ⑧ x2 ・ビス孔フサギ ② x2
		H:22	○ JBFH20B	上框 L=874 4本 , 内外下框 L=900.5 各2本 縦框(左/右) L=2194.5 各1本 , 内召合框 L=2171.5 2本 外召合框 L=2194.5 2本 , 突合せ框 L=2171.5 2本	(セット部品 SB-3-12) x2セット ・φ4x35ナベビス ⑧ x2 ・ビス孔フサギ ② x2
補強桁	1.0間		○ JGK10	補強桁 L=1826 1本 雪除けカバー L=1866 1本	(セット部品 SB-3527-01) ・六角ボルトM8x16 ⑥ ・M8ワッシャー ⑥ ・M8スプリングワッシャー ⑥ ・防水ビス ③
	1.5間		○ JGK15	補強桁 L=2735 1本 雪除けカバー L=2775 1本	(セット部品 SB-3527-02) ・六角ボルトM8x16 ⑦ ・M8ワッシャー ⑦ ・M8スプリングワッシャー ⑦ ・防水ビス ④
	2.0間		○ JGK20	補強桁 L=3644 1本 雪除けカバー L=3684 1本	(セット部品 SB-3527-03) ・六角ボルトM8x16 ⑧ ・M8ワッシャー ⑧ ・M8スプリングワッシャー ⑧ ・防水ビス ⑤

＊上記○には色記号が入ります。(S:セピアブラック、H:ホワイト、F:ファイングレー、T:CBブラウン)

■ 梱包明細書

製品名称			製品記号	梱包内容	
前面網戸	1.0間	H:17	○ JBFS10A	組立て完成品：WS=894 , HS=1776.5	
		H:22	○ JBFS10B	組立て完成品：WS=894 , HS=2202.5	
	1.5間	H:17	○ JBFS15A	組立て完成品：WS=684 , HS=1776.5	
		H:22	○ JBFS15B	組立て完成品：WS=684 , HS=2202.5	
	2.0間	H:17	○ JBFS20A	組立て完成品：WS=912 , HS=1776.5	
		H:22	○ JBFS20B	組立て完成品：WS=912 , HS=2202.5	
奥行材	4尺	H:17	○ JBDT4A	上側面桁 L=1129 2本 , 上枠 L=1054 1本 中骨 L=1053 1本 , 下枠 L=1129 1本 押縁 L=1054 2本 , 下胴縁受け L=1083 1本 たて枠 L=1774 2本 , 高窓縦枠 L=899.5 左右各1本 格子 L=1021 1本 , 壁付縦枠 L=1774 1本	（セット部品 SE-1365-03） ・上枠ストッパー① ・下枠ストッパー① ・下胴縁受小口フタ ② ・笠木ブラケット(柱側) ① ・笠木ブラケット(躯体側) ① ・笠木取付金具② ・ビスカバー② ・中骨シーラー 左右各1 ・セッティングブロック② ・笠木ブラケット取付金具① ・φ4X16ナベテクス⑳ ・φ4X16皿テクス㉘ ・φ5X16ナベテクス⑪ ・φ4X20ナベビス④ ・φ4X10ナベビス③ ・φ4X25ガイド付ビス⑩ ・φ4X16ナベテクス(シルバー) ⑫ ・φ6X70コーチスクリュー⑤ ・M6ワッシャー⑤ ・M4X12トラス小ネジ③ ・裏板① ・M4X12トラス小ネジ(ｼﾙﾊﾞｰ) ②
		H:22	○ JBDT4B	上側面桁 L=1129 2本 , 上枠 L=1054 1本 中骨 L=1053 1本 , 下枠 L=1129 1本 押縁 L=1054 2本 , 下胴縁受け L=1083 1本 たて枠 L=2200 2本 , 高窓縦枠 L=1354.5 左右各1本 格子 L=1021 1本 , 壁付縦枠 L=2200 1本	
	6尺	H:17	○ JBDT6A	上側面桁 L=1729 2本 , 上枠 L=1654 1本 中骨 L=1653 1本 , 下枠 L=1729 1本 押縁 L=804.5 4本 , 下胴縁受け L=1683 1本 たて枠 L=1774 2本 , 高窓縦枠 L=899.5 左右各1本 格子 L=1021 1本 , 壁付縦枠 L=1774 1本 中方立 L=825.5 1本	（セット部品 SE-1365-04） ・上枠ストッパー① ・下枠ストッパー① ・下胴縁受小口フタ② ・笠木ブラケット(柱側) ① ・笠木ブラケット(躯体側) ① ・笠木取付金具② ・ビスカバー② ・中骨シーラー 左右各1 ・セッティングブロック④ ・笠木ブラケット取付金具① ・φ4X16ナベテクス㉘ ・φ4X16皿テクス㉚ ・φ5X16ナベテクス⑬ ・φ4X20ナベビス④ ・φ4X10ナベビス③ ・φ4X25ガイド付ビス⑭ ・φ4X16ナベテクス(シルバー) ⑫ ・φ6X70コーチスクリュー⑤ ・M6ワッシャー⑤ ・M4X12トラス小ネジ③ ・裏板① ・M4X12トラス小ネジ(シルバー) ② ・縦骨ブラケット① ・中方立ブラケット② ・S4X8トラスビス② ・S4x12トラスビス⑤
		H:22	○ JBDT6B	上側面桁 L=1729 2本 , 上枠 L=1654 1本 中骨 L=1653 1本 , 下枠 L=1729 1本 押縁 L=804.5 4本 , 下胴縁受け L=1683 1本 たて枠 L=2200 2本 , 高窓縦枠 L=1354.5 左右各1本 格子 L=1021 1本 , 壁付縦枠 L=2200 1本 中方立 L=796.5 1本	
奥行障子	4尺	H:17	○ JBFW4A	上框 L=517.5 2本 , 内外下框 L=522 各1本 縦框(左) L=872.5 1本 , 縦框(右) L=849.5 1本 内召合框 L=849.5 1本 , 外召合框 L=872.5 1本	（セット部品 SB-3-5） ・φ4X25ナベビス⑧ ・ビス孔フサギ②
		H:22	○ JBFW4B	上框 L=507.5 2本 , 内外下框 L=522 各1本 縦框(左) L=1327.5 1本 , 縦框(右) L=1304.5 1本 内召合框 L=1304.5 1本 , 外召合框 L=1327.5 1本	（セット部品 SB-3-5） ・φ4X25ナベビス⑧ ・ビス孔フサギ②
	6尺	H:17	○ JBFW6A	上框 L=817.5 2本 , 内外下框 L=822 各1本 縦框(左) L=872.5 1本 , 縦框(右) L=849.5 1本 内召合框 L=849.5 1本 , 外召合框 L=872.5 1本	（セット部品 SB-3-5） ・φ4X25ナベビス⑧ ・ビス孔フサギ②
		H:22	○ JBFW6B	上框 L=807.5 2本 , 内外下框 L=822 各1本 縦框(左) L=1327.5 1本 , 縦框(右) L=1304.5 1本 内召合框 L=1304.5 1本 , 外召合框 L=1327.5 1本	（セット部品 SB-3-5） ・φ4X25ナベビス⑧ ・ビス孔フサギ②
奥行網戸	4尺	H:17	○ JBFS4A	組立て完成品：WS=536 , HS=880	
		H:22	○ JBFS4B	組立て完成品：WS=536 , HS=1335	
	6尺	H:17	○ JBFS6AA	組立て完成品：WS=836 , HS=880	
		H:22	○ JBFS6BA	組立て完成品：WS=836 , HS=1335	
柱接続部品	柱		○ JBFB	調整柱 L=300 2本	（セット部品 SE-1146-11） ・φ4X16皿テクス⑩ ・S4X10皿ビス⑩ ・S5X12皿ビス⑥
	間柱		○ JBFRBN	調整柱 L=2400 1本	（セット部品 SE-1146-13） ・φ4X16皿テクス⑤ ・S4X10皿ビス⑤ ・S5X12皿ビス⑤ ・柱固定裏板① ・柱固定金具① ・M5X12トラス小ネジ④ ・M8x14六角ボルト② ・M8用ワッシャー②

＊上記○には色記号が入ります。(S:セピアブラック、H:ホワイト、F:ファイングレー、T:CBブラウン)

■ 梱包明細書（別途手配）

製品名称		製品記号	梱包内容
物干し	1.0間	AJBAMO10	物干し竿 L=1731 1本 , 物干し竿受け L=50 2個
	1.5間	AJBAMO15	物干し竿 L=2640 1本 , 物干し竿受け L=50 2個
	2.0間	AJBAMO20	物干し竿 L=3549 1本 , 物干し竿受け L=50 2個

（セット部品　SE-1366-01）
・物干しキャップ②　・φ4X70トラス小ネジ⑩
・M4ターンナット⑩

製品名称	用途 ＼ 長さ / ガラス厚	製品記号		
		20m巻	50m巻	100m巻
ガラス用後付けビード（14mm開口用）	3mm用	SGBY3B	SGBY3	SGBY3A
	4mm用	SGBY4B	SGBY4	SGBY4A
	5mm用	SGBY5B	SGBY5	SGBY5A
	6mm用	SGBY6B	SGBY6	SGBY6A
	6.8mm用	SGBY7B	SGBY7	SGBY7A

製品名称	用途 ＼ 長さ / ガラス厚	製品記号
		200m巻
ガラス用グレチャン（9mm開口用）	3～4mm用	BG34
	5～6mm用	BG56
	6.8mm用	SGC0968

製品名称	用途 ＼ 長さ / 板厚	製品記号
		50m巻
アクリル板用後付けビード（14mm開口用）	3～5mm用	SJSBGB35

製品名称	用途 ＼ 長さ / 板厚	製品記号
		20m巻
アクリル板用グレチャン（9mm開口用）	3～4mm用	SJSBGC34
	5～6mm用	SJSBGC56

製品名称	用途 ＼ 間口 / 色	製品記号		
		1.0間	1.5間	2.0間
前面掃出し窓 中桟	セピアブラック	SAND186	SAND2814	SAND377
	ホワイト	HAND186	HAND2814	HAND377
	ファイングレー	FAND186	FAND2814	FAND377
	CBブラウン	TAND186	TAND2814	TAND377
切断寸法（H:17）		807.5x2本	596x4本	823.5x4本
切断寸法（H:22）		787.5x2本	576x4本	803.5x4本

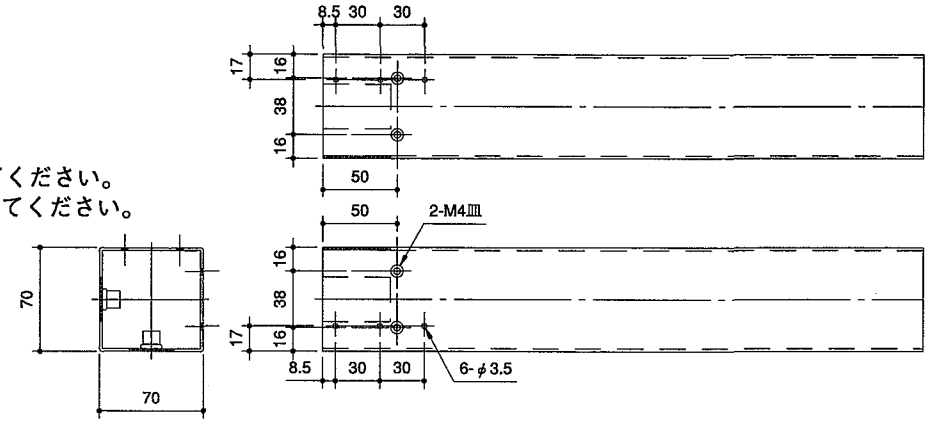
⚠注意　ファインテラスの部品箱は積雪用を拾い出してください。

加工図

● バルコニー柱(左)

※本図対称加工を(右)とします。

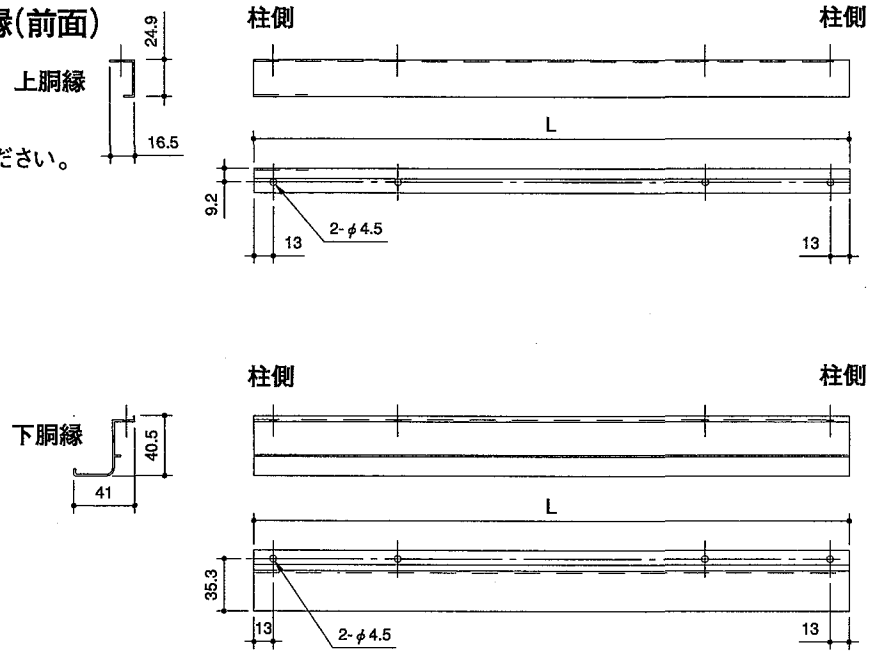
＜加工手順＞
○柱ジョイント用孔(φ4皿)をあけてください。
○笠木ブラケット用孔(φ3.5)をあけてください。



● バルコニー格子パネル上下胴縁(前面)

＜加工手順＞
○ 柱側に格子取付け用孔(φ4.5)をあけてください。

1755	1.0間
1332	1.5間
1721.5	2.0間
L	間 口



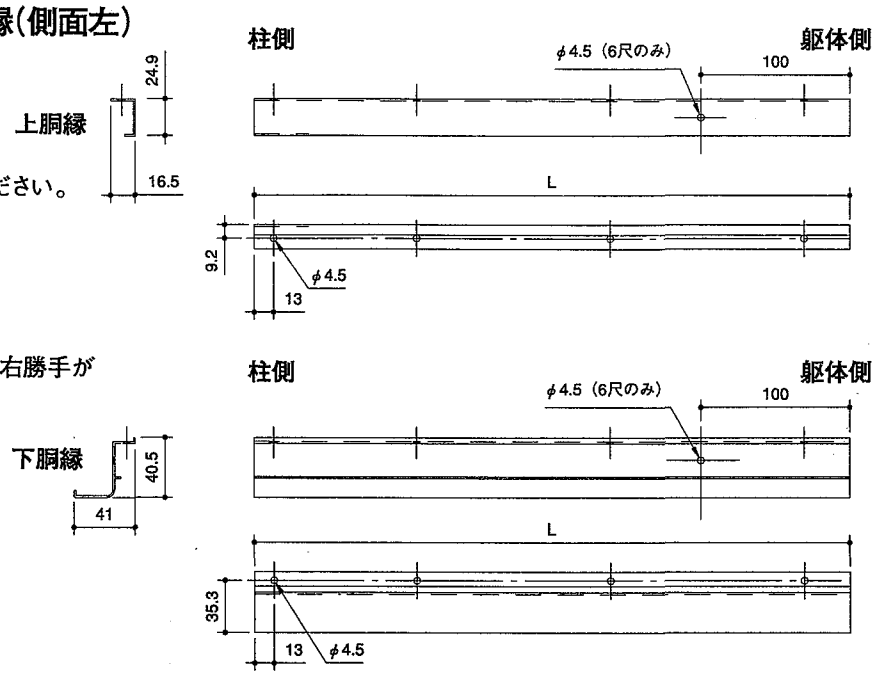
● バルコニー格子パネル上下胴縁(側面左)

※本図対称加工を(右)とします。

＜加工手順＞
○ 躯体側を 48mm切り詰めてください。
○ 柱側に格子取付け用孔(φ4.5)をあけてください。

1681	6 尺 用
1081	4 尺 用
L	摘 要

注) 格子パネルを切断する場合、内外・左右勝手がありますので注意してください。



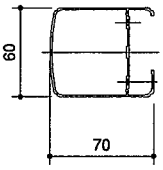
加工図

● バルコニー妻笠木（左）

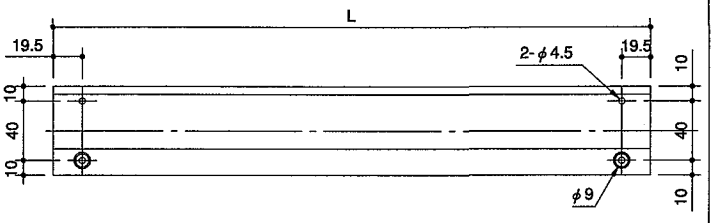
※本図対称加工を(右)とします。

<加工手順>
- o笠木ジョイナー金具を取り外してください。
- o躯体側を 48mm切り詰めてください。
- o躯体側に笠木取付金具取付け用孔（ϕ4.5・ϕ9)をあけてください。

1682	6尺用
1082	4尺用
L	摘　要



柱側　　躯体側



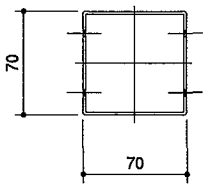
● テラス柱（左）

※本図対称加工を(右)とします。

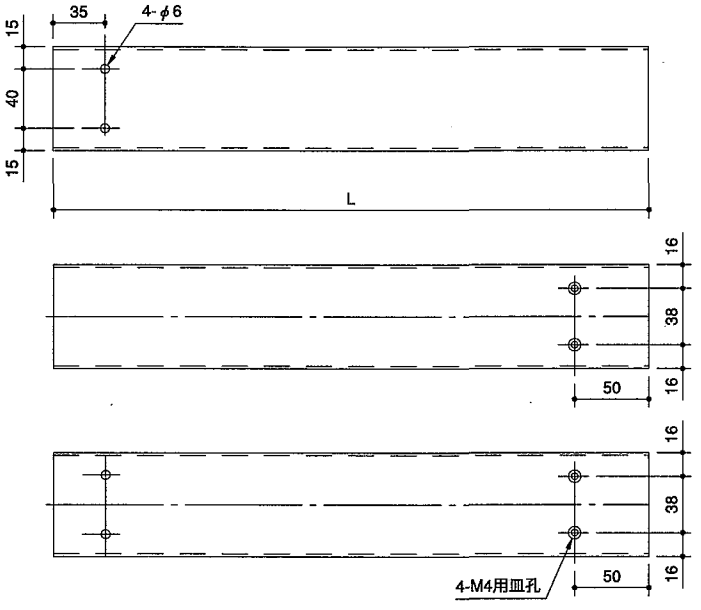
<加工手順>
- o 下記寸法にて切断してください。

一般	1157	Bタイプ
	731	Aタイプ
積雪	1274	Bタイプ
	848	Aタイプ
	L	摘　要

- o 柱上端にϕ6の孔加工をしてください。
- o バルコニー接続用皿孔(ϕ4用)をあけてください。



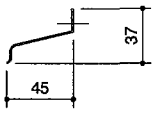
屋根側（上）　　接続側（下）

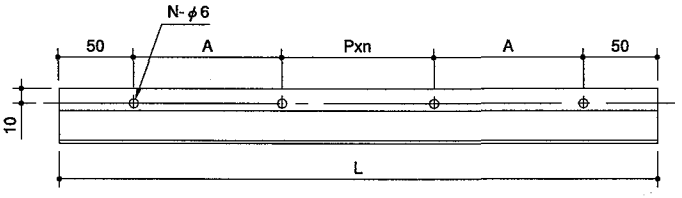


● 水切材

- o 水切材にϕ6の孔加工をしてください。

間口	L	Pxn	A	N
1.0間	1946	-	923	3
1.5間	2855	909x1	923	4
2.0間	3764	909x2	923	5



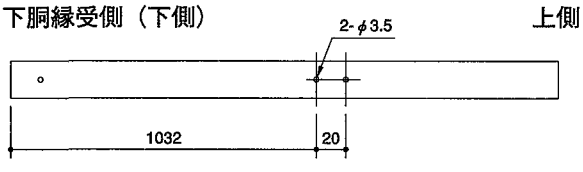


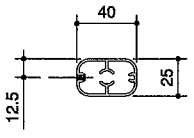
● サポート柱（前面、左）

※本図対称加工を(右)とします。

<加工手順>
- o サポート柱ブラケット取付け用孔(ϕ3.5)をあけてください。

下胴縁受側（下側）　　上側

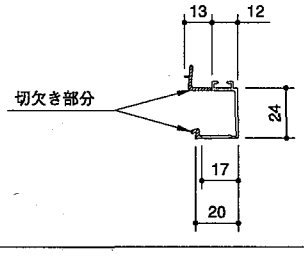


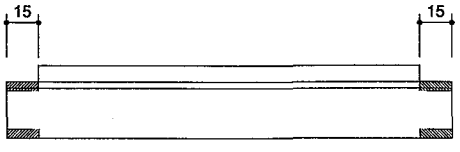


● 押縁（外側）

注)室内側の押縁は加工する必要ありません。

<加工手順>
- o 水抜き孔の加工をしてください。

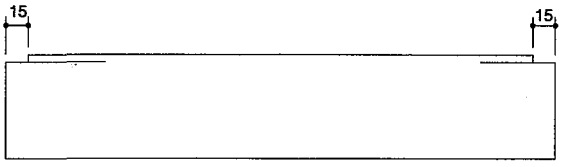


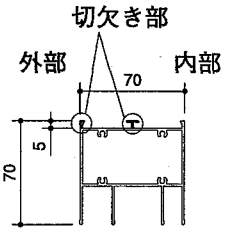


加工図

● 無目　F/H

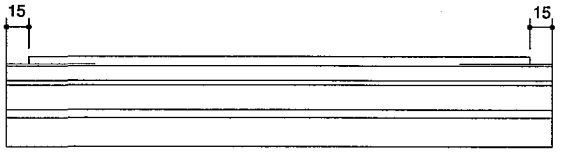
<加工手順>
○ 水抜き孔の加工をしてください。
　外部及び中間部の立ち上がり部を切り欠いてください。

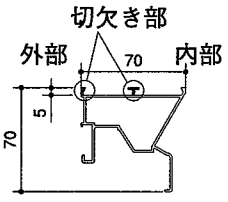




● 下枠 F

<加工手順>
○ 水抜き孔の加工をしてください。
　外部及び中間部の立ち上がり部を切り欠いてください。

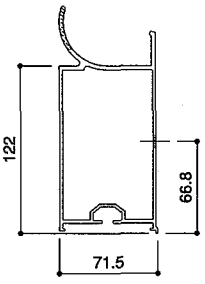


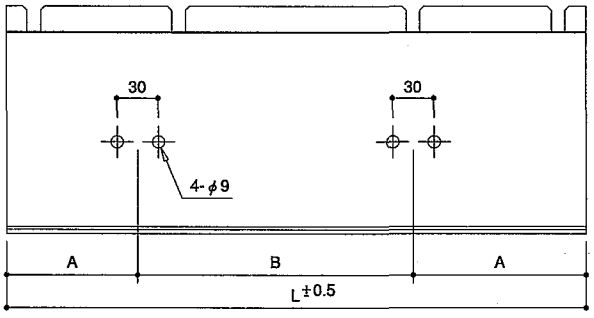


● テラス補強桁

<加工手順>
○ サポート柱取付け用の孔加工をしてください。
　注)積雪タイプの場合は加工の必要はありません。
　間口1.0間の場合はサポート柱は必要ありません。

間口	L	A	B
1.5間	2735	781.5	1172
2.0間	3644	1008.5	1627

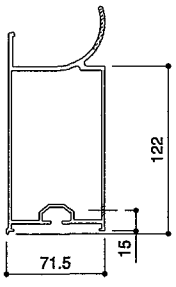


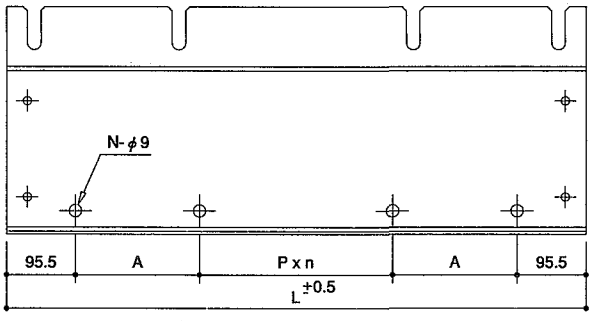


● テラス補強桁(積雪タイプのみ)

<加工手順>
○ 前面桁取付け用の孔加工をしてください。
　注) 一般タイプの場合は加工の必要はありません。

間口	L	Pxn	A	N
1.0間	1826	300x4	217.5	7
1.5間	2735	300x7	222	10
2.0間	3644	300x10	226.5	13

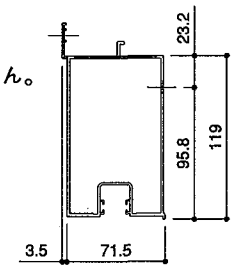


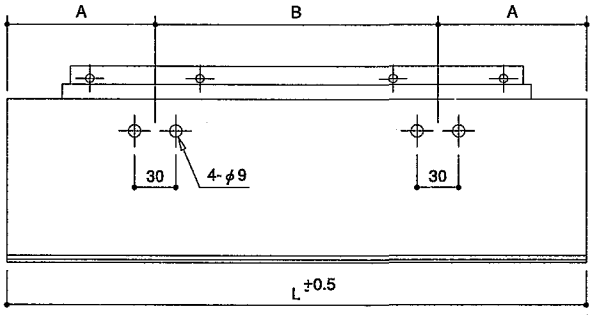


● テラス前面桁(積雪タイプのみ)

<加工手順>
○ サポート柱取付け用の孔加工をしてください。
　注)間口1.0間の場合はサポート柱は必要ありません。

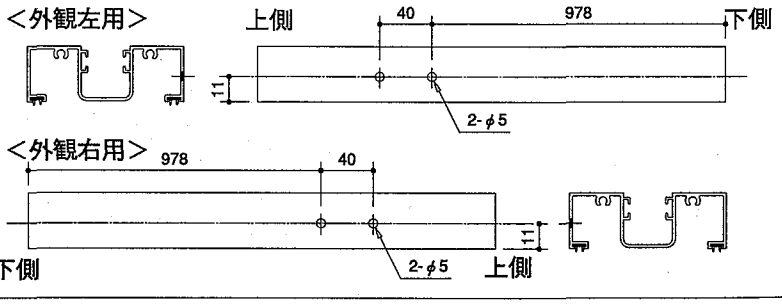
間口	L	A	B
1.5間	2664	746	1172
2.0間	3573	973	1627





● 側面たて枠(躯体側)

<加工手順>
○ 躯体側にくるたて枠(左右各1本)の側面にφ5の孔加工をしてください。
　注)たて枠には上下があります。向きに注意してください。

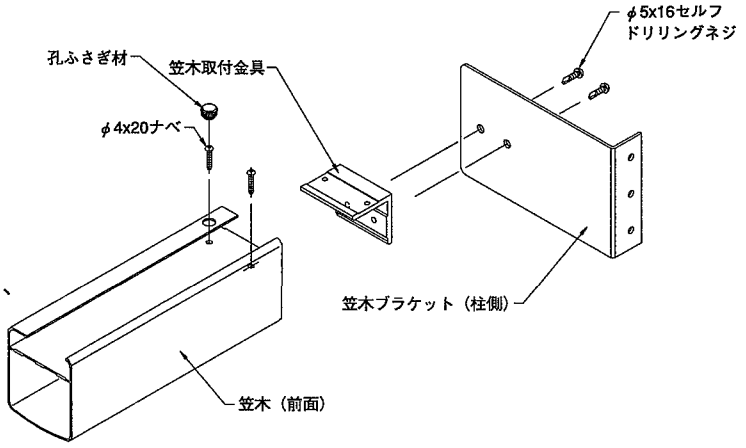


部品取付図

● 笠木(前面)・妻笠木(柱側)

※本図対称取付図を(右)とします。

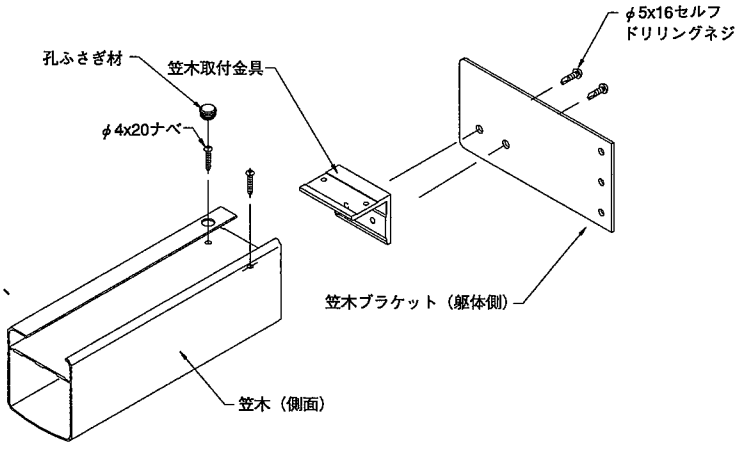
<取付手順>
- 笠木ブラケットに笠木取付金具をセルフドリリングネジφ5x16で、取付けてください。
- 笠木取付金具を笠木に差し込んで、φ4x20ナベで、取付けてください。



● 妻笠木(躯体側)

※本図対称取付図を(左)とします。

<取付手順>
- 笠木ブラケットに笠木取付金具をセルフドリリングネジφ5x16で、取付けてください。
- 笠木取付金具を笠木に差し込んで、φ4x20ナベで、取付けてください。

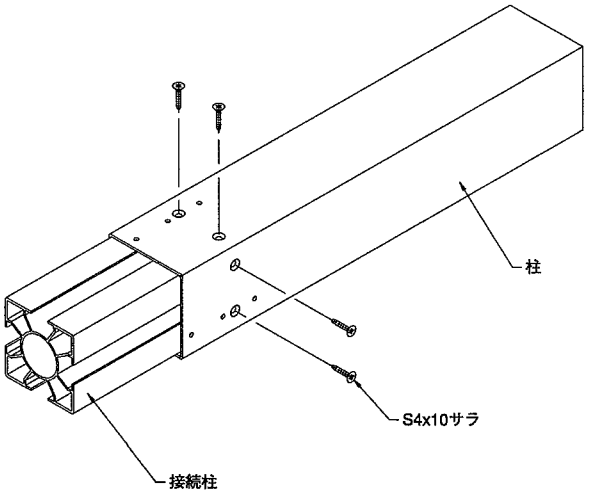


● 接続柱

※本図対称取付図を(左)とします。

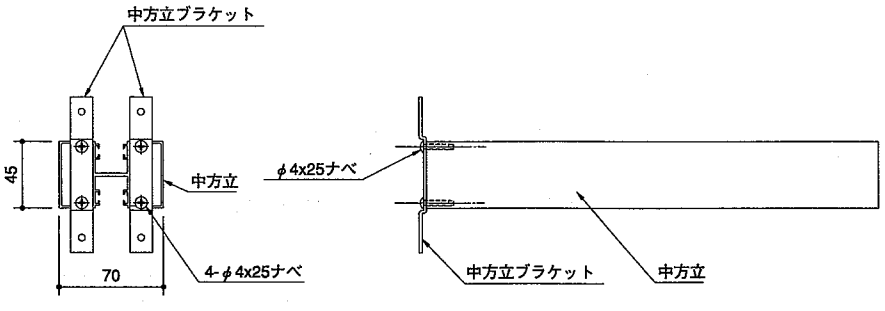
<取付手順>
- 接続柱を柱の中に差し込み下孔の所にS4x10サラで、取付けてください。

注）間柱に取付ける場合、接続柱が長いのでバルコニーを付ける前に付けてください。



● 中方立(出巾6尺用)

<取付手順>
- 中方立に中方立ブラケットを組立ビスφ4x25で、取付けてください。

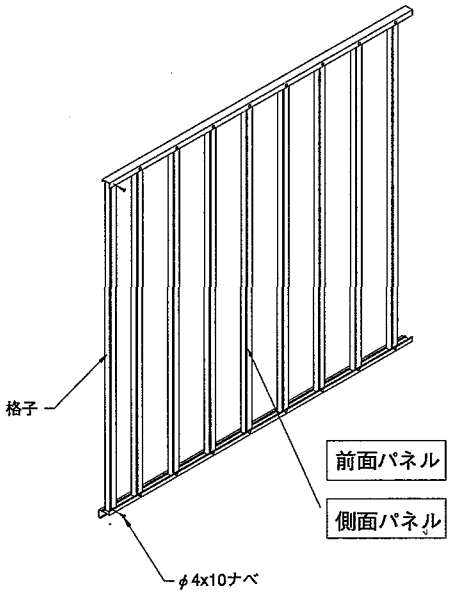


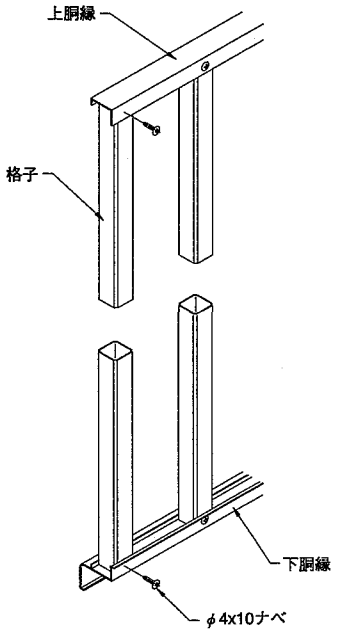
部品取付図

● 格子パネル

※本図対称取付図を(右)とします。

<取付手順>
- 前面格子パネル両端に格子を φ4x10ナベで取付けてください。
- 妻面格子パネル柱側に格子を φ4x10ナベで取付けてください。



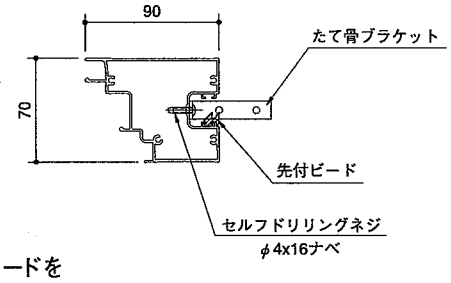


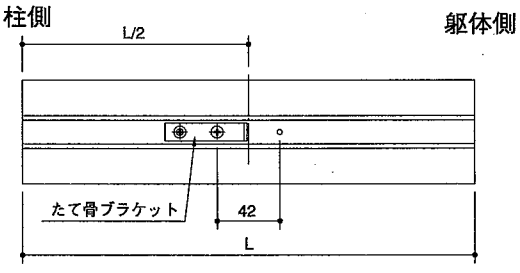
● 中骨（出巾6尺用）

※本図対称取付図を(左)とします。

<取付手順>
- 中骨に、たて骨ブラケットを セルフドリリングネジ φ4x16で、 取付けてください。

注)たて骨ブラケットに当たる先付ビードを 切断してください。
中骨には左右兼用のため孔が 2個あけて ありますが柱側にブラケットを取付けてください。

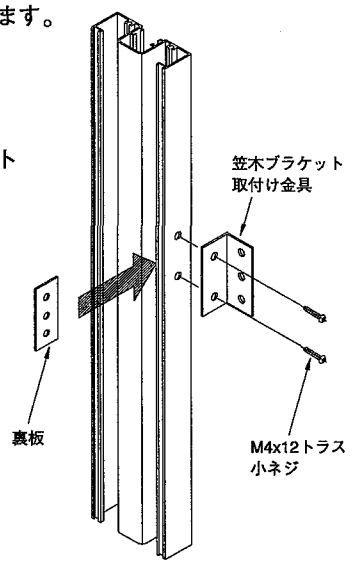




● 側面たて枠

※本図対称取付図を(右)とします。

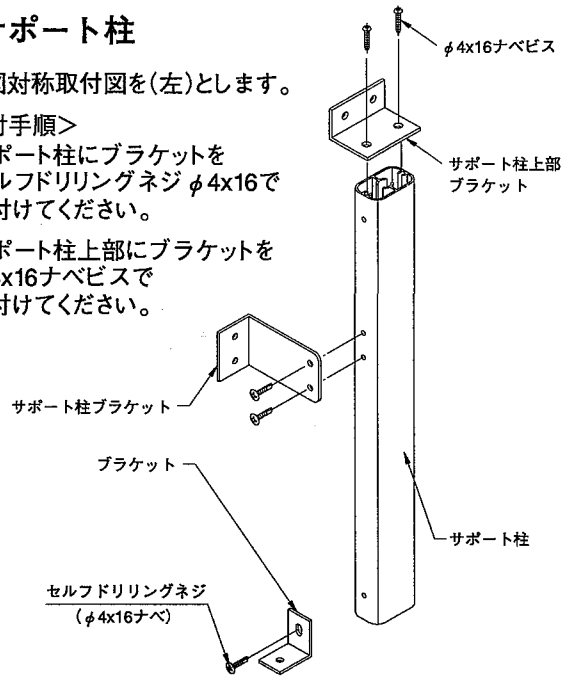
<取付手順>
- 側面たて枠に笠木ブラケット 取付け金具をM4x12トラス 小ネジで取付けてください



● サポート柱

※本図対称取付図を(左)とします。

<取付手順>
- サポート柱にブラケットを セルフドリリングネジ φ4x16で 取付けてください。
- サポート柱上部にブラケットを φ4x16ナベビスで 取付けてください。



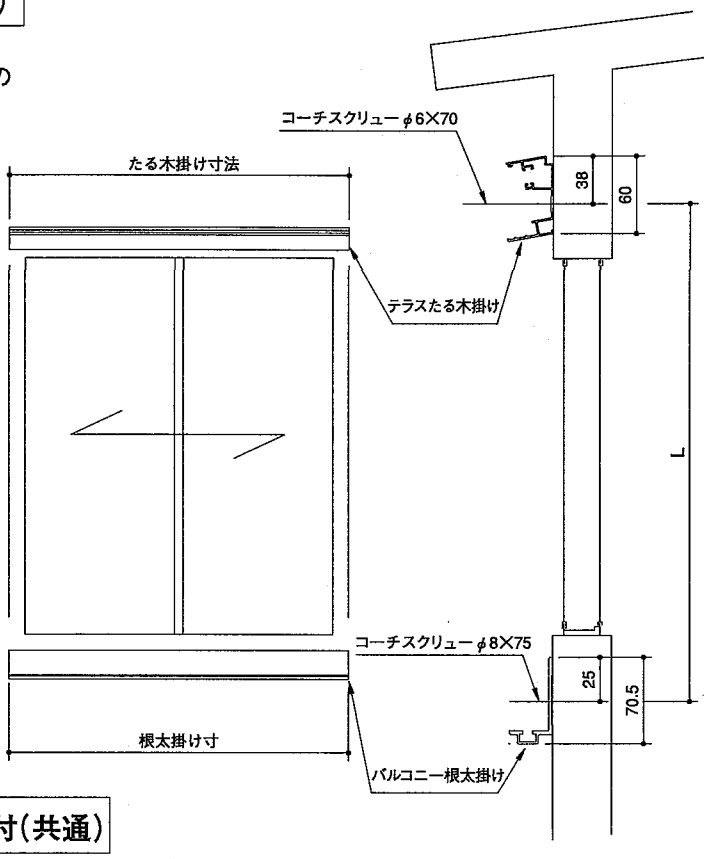
組立手順

1.根太掛け材及びたる木掛けの取付(共通)

バルコニーの根太掛けとテラスのたる木掛けの取付け孔位置を墨出ししてください。

前面サッシH	F型L寸法	R型L寸法
一般Aタイプ4尺	2323.5	2389.5
一般Aタイプ6尺	2429.5	2495.5
一般Bタイプ4尺	2749.5	2815.5
一般Bタイプ6尺	2855.5	2921.5
積雪Aタイプ4尺	2440.5	2506.5
積雪Aタイプ6尺	2546.5	2612.5
積雪Bタイプ4尺	2866.5	2932.5
積雪Bタイプ6尺	2972.5	3038.5

※コーチスクリューは水平か若干斜め上向きに打ち込み、コーチスクリューの頭とたる木掛けと躯体とのすき間、根太掛けと躯体とのすき間それぞれにコーキングを施してください。

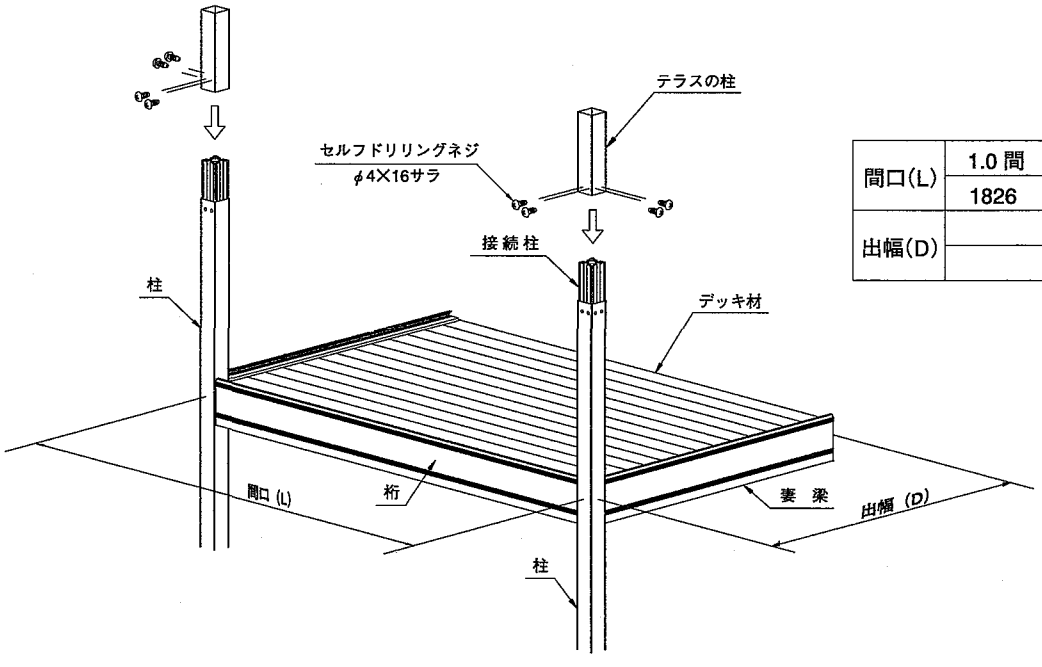


2.バルコニー7型の組立・テラス柱の取付(共通)

柱と床面（デッキ材含む）まで組立ててください。
取付手順は、バルコニー7型の部品箱に入っている施工マニュアルを参照してください。

①P.11の加工図に従い、テラス柱を切断して下さい。

②接続柱にテラス柱を差し込み、セルフドリリングネジ（φ4X16サラ）で取付けてください。



間口(L)	1.0間	1.5間	2.0間
	1826	2735	3644
出幅(D)	4尺1165		
	6尺1765		

3.移動桁・補強桁と柱の組立(共通)

※積雪タイプには前面桁が追加されます。(P.18参照)

① M8X16六角ボルトを移動桁の溝に入れ、移動桁に移動桁ブラケットを差し込んで皿タッピンM4 X 60 で固定してください。

② 柱固定裏板を補強桁に入れ、補強桁ブラケットを φ5X12トラスで固定してください。

③ 柱固定金具を柱固定裏板にM8X16ボルトで固定してください。

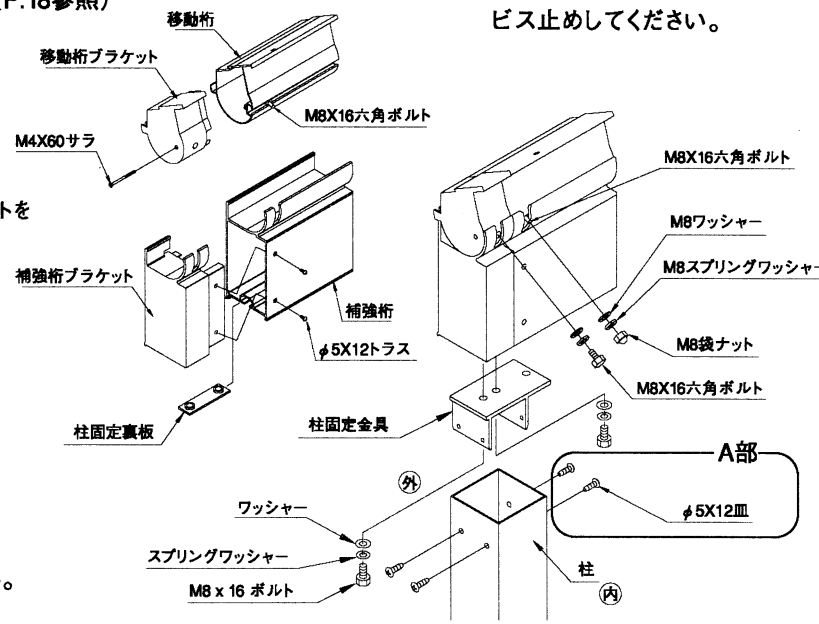
④ 柱に柱固定金具を差し込んでφ5X12 トラスで固定してください。

⑤ 移動桁と補強桁をM8X16六角ボルト・M8袋ナットで固定し、移動桁ブラケットと補強桁ブラケットをM8X16六角ボルトで固定してください。

A部 柱にM5皿孔加工をしてください。(サッシ上枠側のみ)

⚠注意

柱の垂直をたしかめながらビス止めしてください。



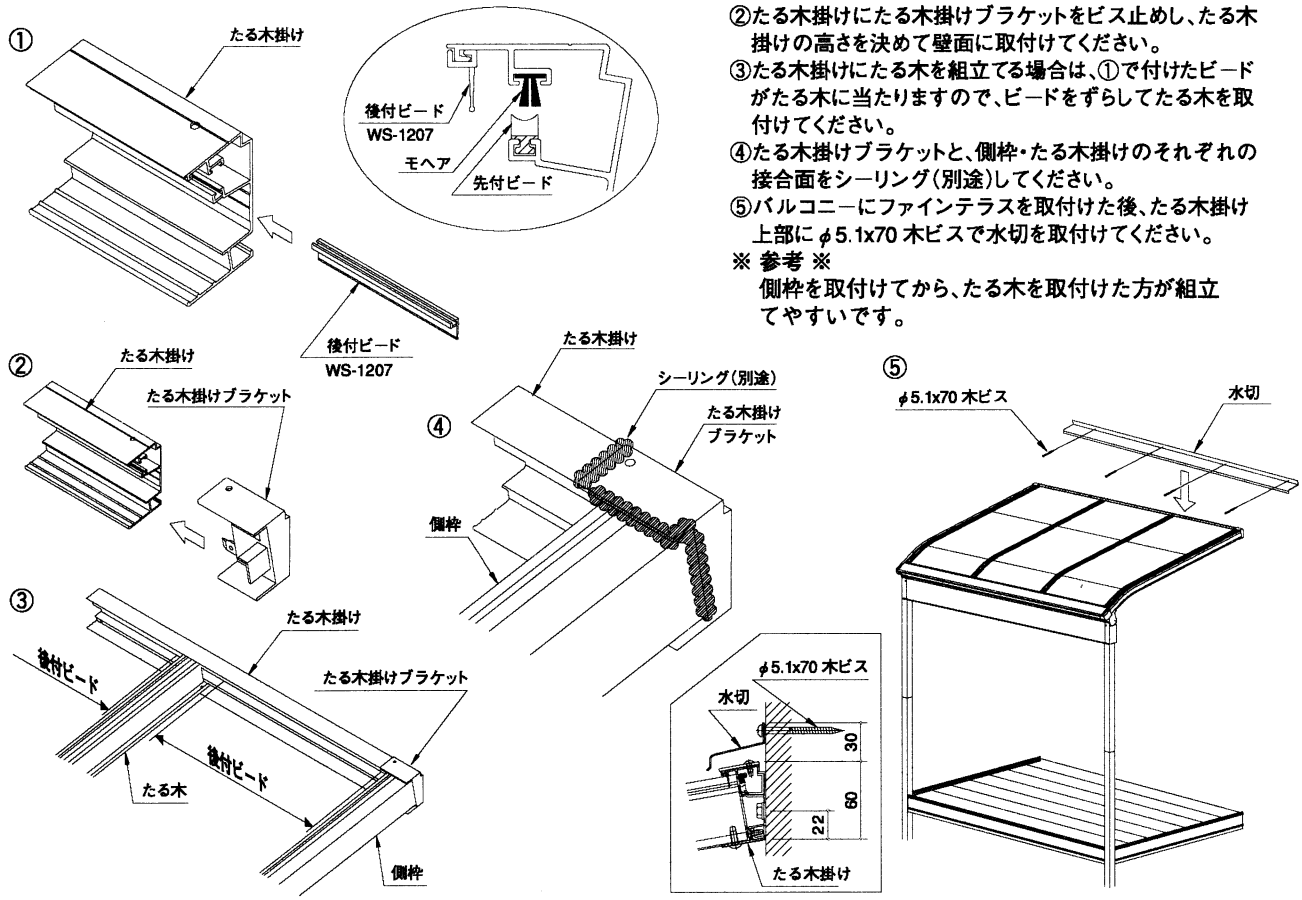
4.ファインテラスの取付(共通)

※ 詳しくは、ファインテラス施工マニュアルをご覧ください。
ファインテラス施工マニュアルは、ファインテラスの部品箱内に入っています。

⚠注意

水密性をアップするために快晴気分仕様のファインテラスでは以下の手順で組立ててください。

①たる木掛けに後付ビード(WS-1207)を全て、間口方向に差し込んでください。
②たる木掛けにたる木掛けブラケットをビス止めし、たる木掛けの高さを決めて壁面に取付けてください。
③たる木掛けにたる木を組立てる場合は、①で付けたビードがたる木に当たりますので、ビードをずらしてたる木を取付けてください。
④たる木掛けブラケットと、側枠・たる木掛けのそれぞれの接合面をシーリング(別途)してください。
⑤バルコニーにファインテラスを取付けた後、たる木掛け上部にφ5.1x70 木ビスで水切を取付けてください。
※ 参考 ※
側枠を取付けてから、たる木を取付けた方が組立てやすいです。

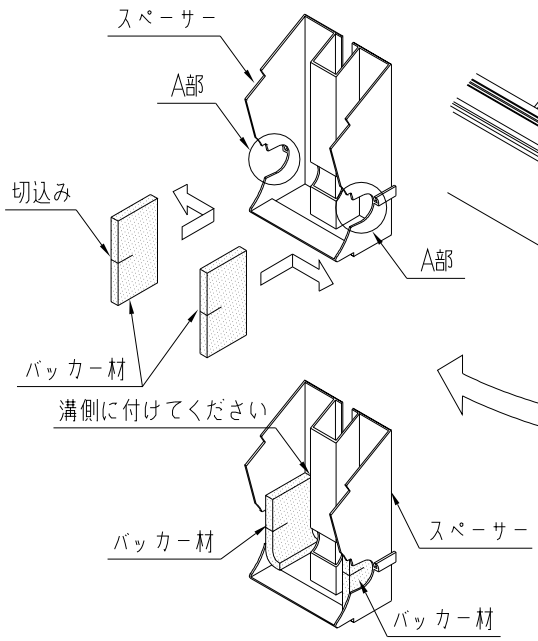


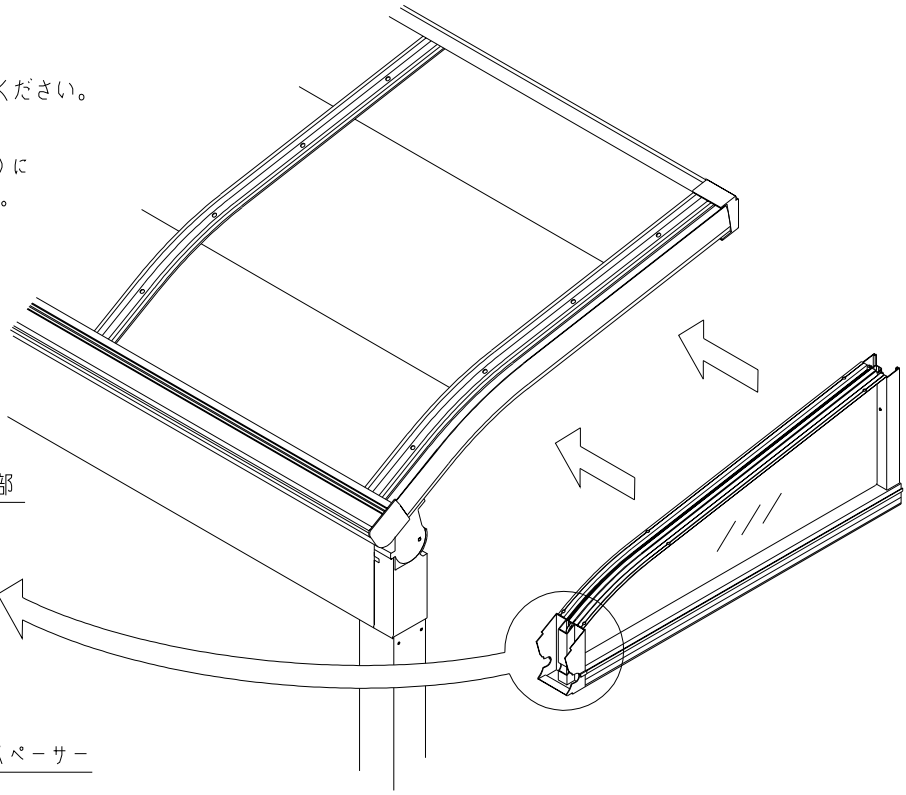
5.妻パネルの取付

⚠ 注意

妻パネルを取付ける前に以下の準備をしてください。

◎同梱包されているバッカー材の離型紙をはがし、
切込み位置をスペーサー側面のA部（ボルト位置）に
あわせてスペーサーの内側に貼り付けてください。

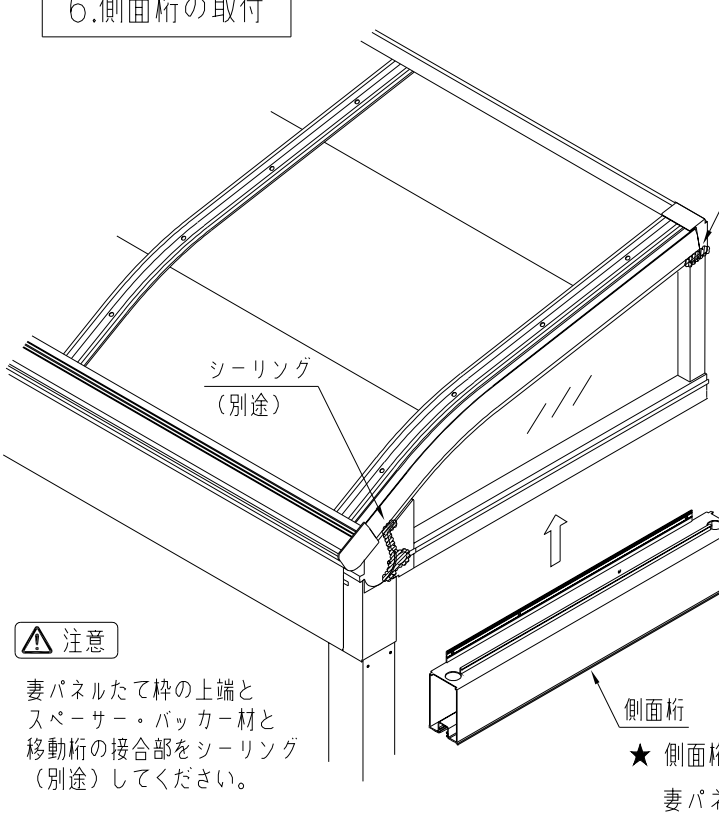




○ 詳しくは、妻パネル施工マニュアル（ ME−1587）をご参照下さい。

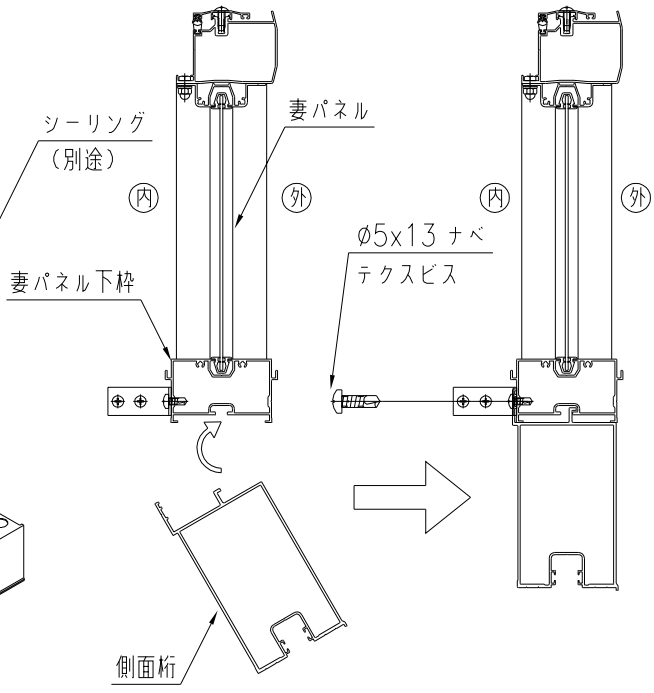
※ 妻パネル施工マニュアルは、ファインテラス 妻パネルの中に梱包されております。※

6.側面桁の取付



⚠ 注意

妻パネルたて枠の上端と
スペーサー・バッカー材と
移動桁の接合部をシーリング
（別途）してください。



★ 側面桁を取付ける際には、側面桁を上図のように回転させて
妻パネル下枠に嵌め込んでから、テクスビスで 固定して下さい。★

★ 前面桁・下側面桁の取付（積雪タイプのみ）★

《 間口方向》

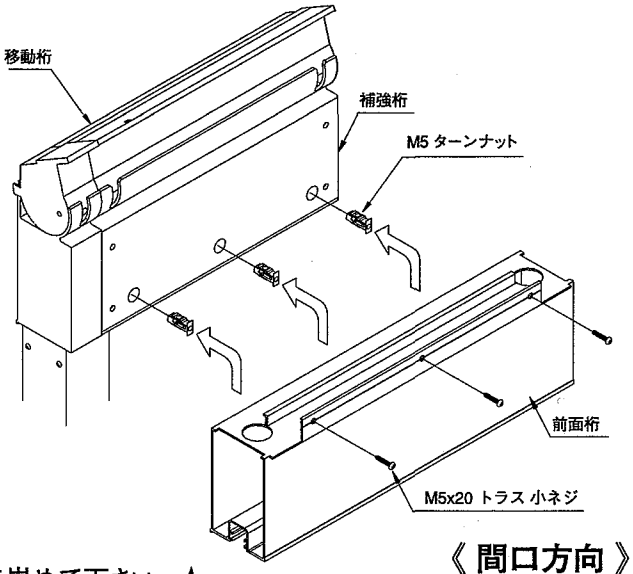
◎ 補強桁に M5 ターンナットを挿入し、
前面桁を M5 x 20 トラス 小ネジで
固定してください。

★ この時、前面桁の上部フィンを補強桁底面の溝に
嵌めて下さい。★

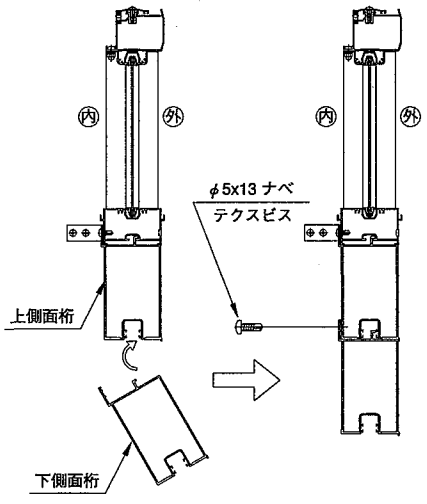
《 出巾方向 》

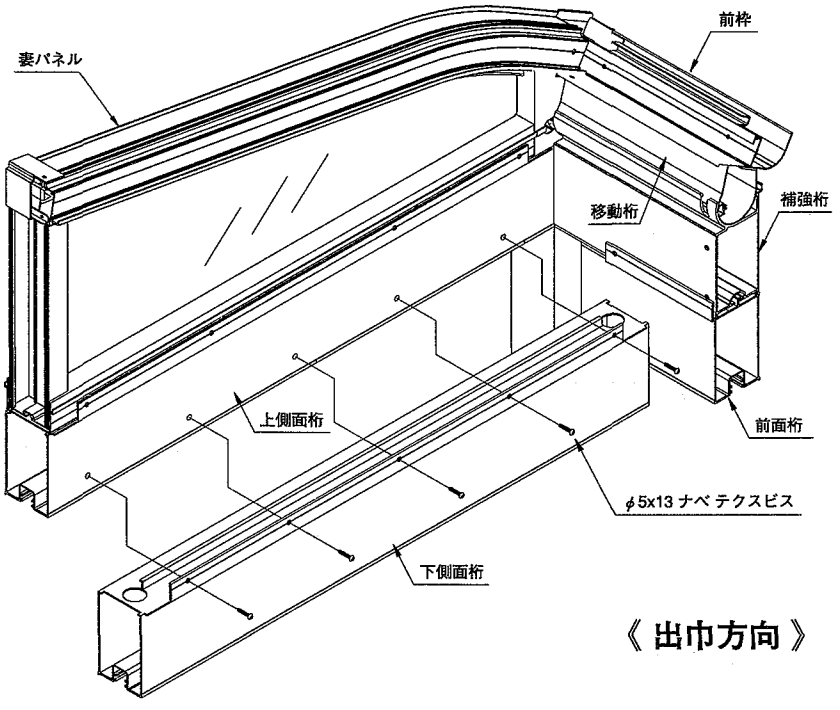
◎ 上側面桁と下側面桁を φ5x13 ナベ テクスビスで
固定してください。

★ この時、下側面桁の上部フィンを上側面桁底面の溝に嵌めて下さい。★



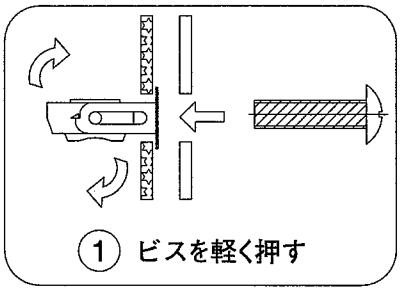
《 間口方向 》



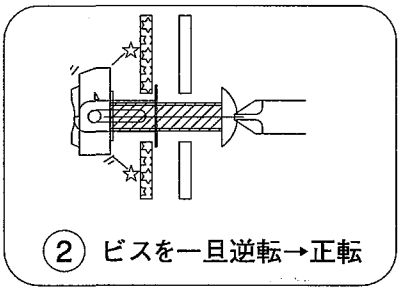


《 出巾方向 》

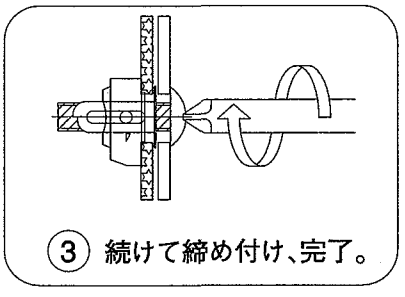
★ ターンナット 取付方法 ★



ターンナットを下穴に挿入した後、
器材を当てがいビスを指で指し込みます。
ビスを軽く押すと、ナットが回転します。



手廻しドライバーでビスを押しながら
1～2 回逆転(左廻)し、そのまますぐに
2～3 回正転(右廻)して、ビスを軽く
ねじ込みます。



そのまま続けて締め付けます。
(大量にご使用の場合は、ここで
エアドライバーや充電式ドライバー
などに換えて頂くと、能率的です。)

7. 前面窓枠の取付（共通）

① 補強桁にをセルフドリリングネジ（φ4x25サラ）で引違い上枠を取付けてください。

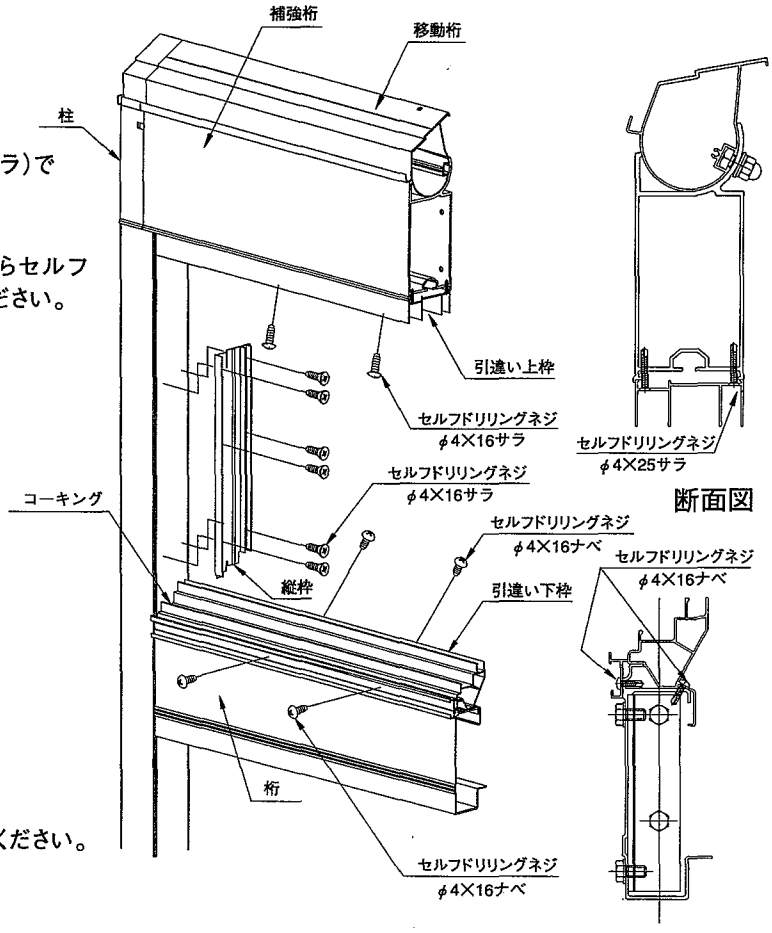
② 桁材に引違い下枠を押し付け、水平にしながらセルフドリリングネジ（φ4×16ナベ）で取付けてください。

⚠注意

●桁外側のセルフドリリングネジを初めに取付けしてください。
内側のセルフドリリングネジは下枠の形状と平行にビス止めしてください。
尚、ビットの長さは110mm以上を使用してください。

③ 縦枠を斜めにしながら下枠の上に置き、上枠の溝に入れてセルフドリリングネジ（φ4×16サラ）で取付けてください。

④ 柱と引違い下枠の両側にコーキングをしてください。



断面図

8. 側面窓枠の取付（共通）

① 妻ばりに下枠(FIX)を押し付け、水平にしながら、セルフドリリングネジ（φ4×16ナベ）で固定してください。

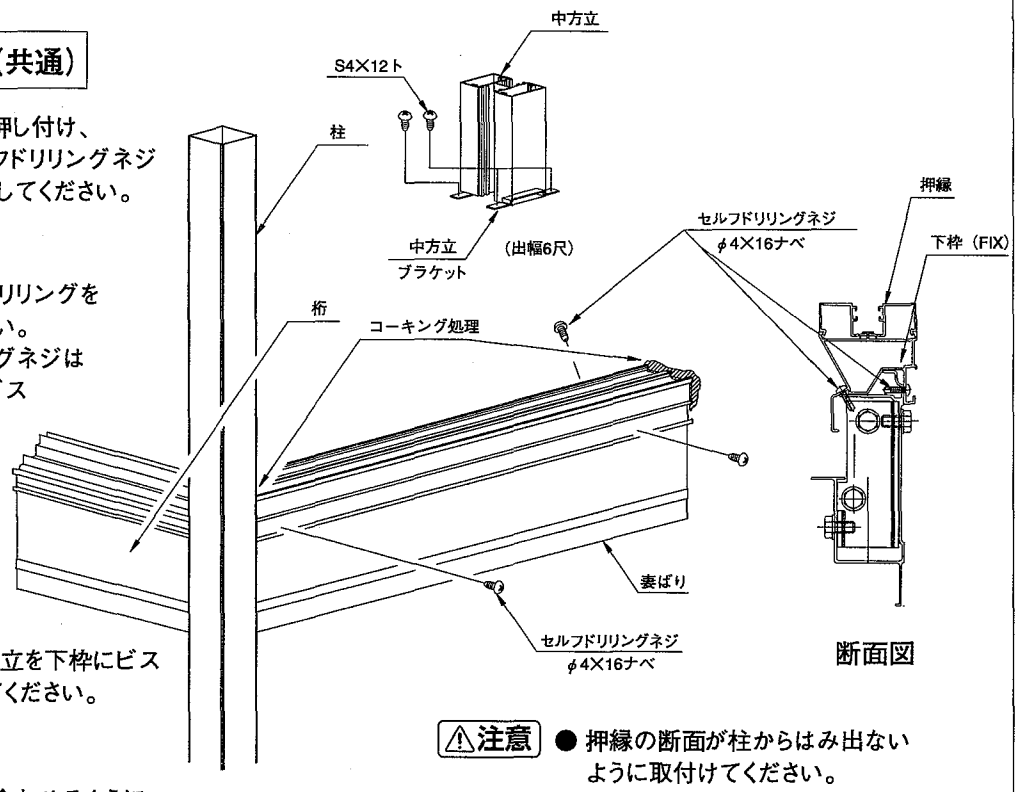
⚠注意

● 妻ばり外側のセルフドリリングを初めに取付けてください。
内側のセルフドリリングネジは下枠の形状と平行にビス止めしてください。
尚、ビットの長さは110mm以上を使用してください。

② 出幅6尺の場合は中方立を下枠にビス（S4×12ト）で取付けてください。

⚠注意

● 中方立は、下枠と面を合わせるように取付けてください。

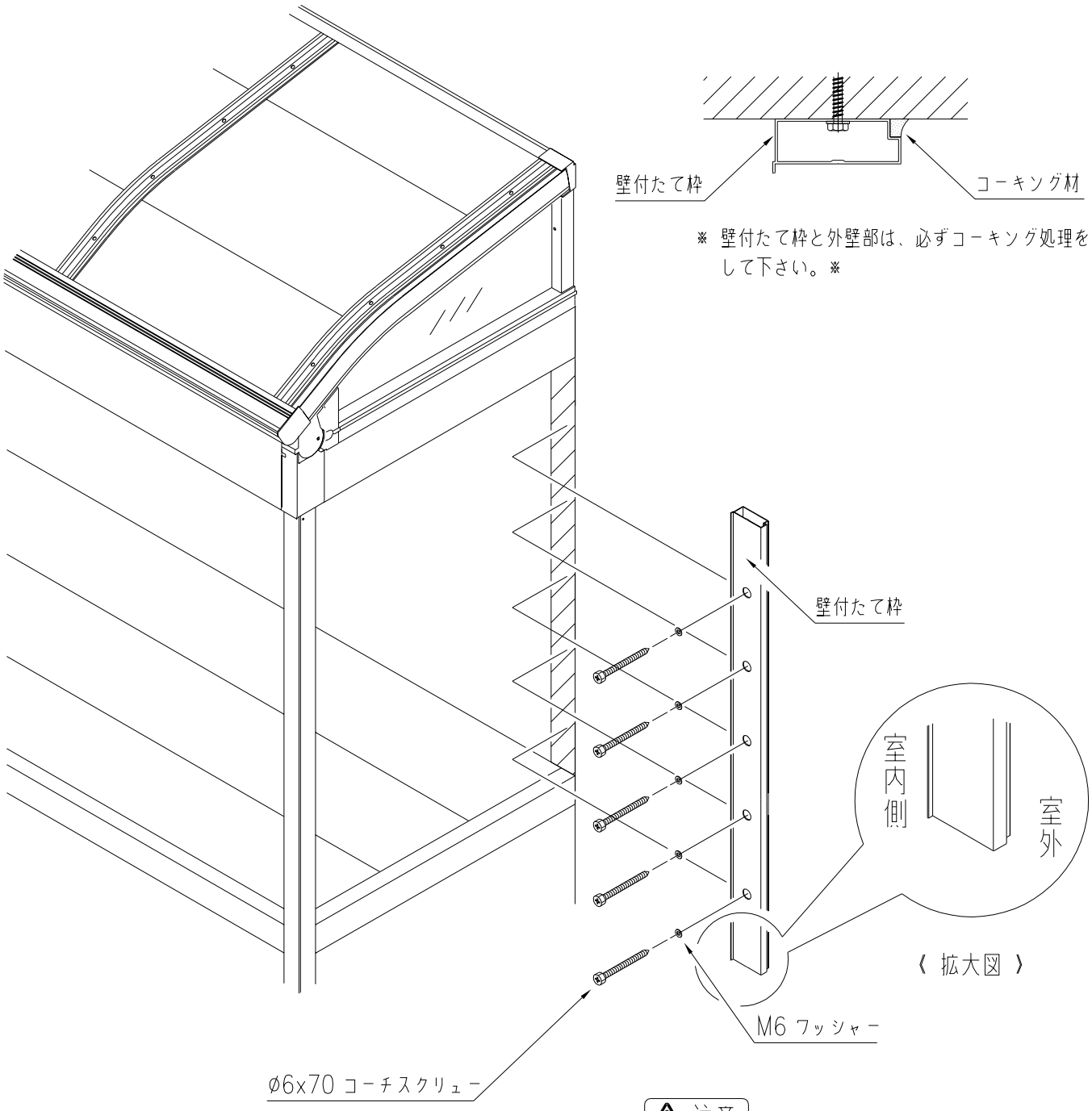


断面図

⚠注意

● 押縁の断面が柱からはみ出ないように取付けてください。
● 押縁の先付ビートが室外側になるように嵌め込んでください。
● サッシ下枠の両端部は、コーキング処理を行って下さい。

9.壁付たての取付（共通）



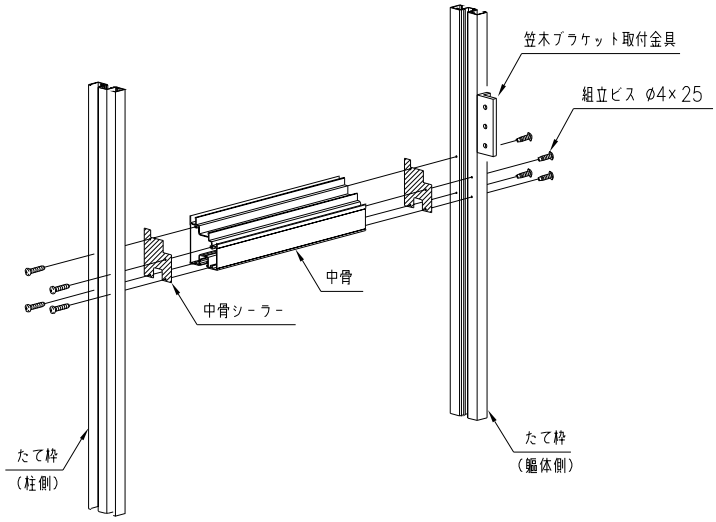
⚠ 注意

壁付たて枠の向きにご注意下さい。
（フィンが、室内側になります。）

コーチスクリューの下孔は、φ4.5mm
深さ 50mm 以下にして下さい。

10.側面パネルの組立（共通）

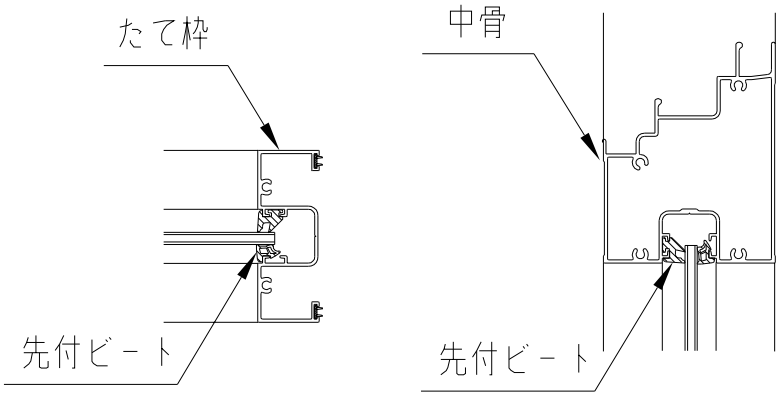
① パネルの組立て
下記の内容に注意しながら
枠材を組立ててください。



●先付ビートが室外側になるように
ビートを入れ換えてください。

●たて枠に 左、右の向きを注意して
各シーラーを貼り付けてください。

⚠ 注意
離形紙をはがした面を形材に
貼り付けてください。



断面図

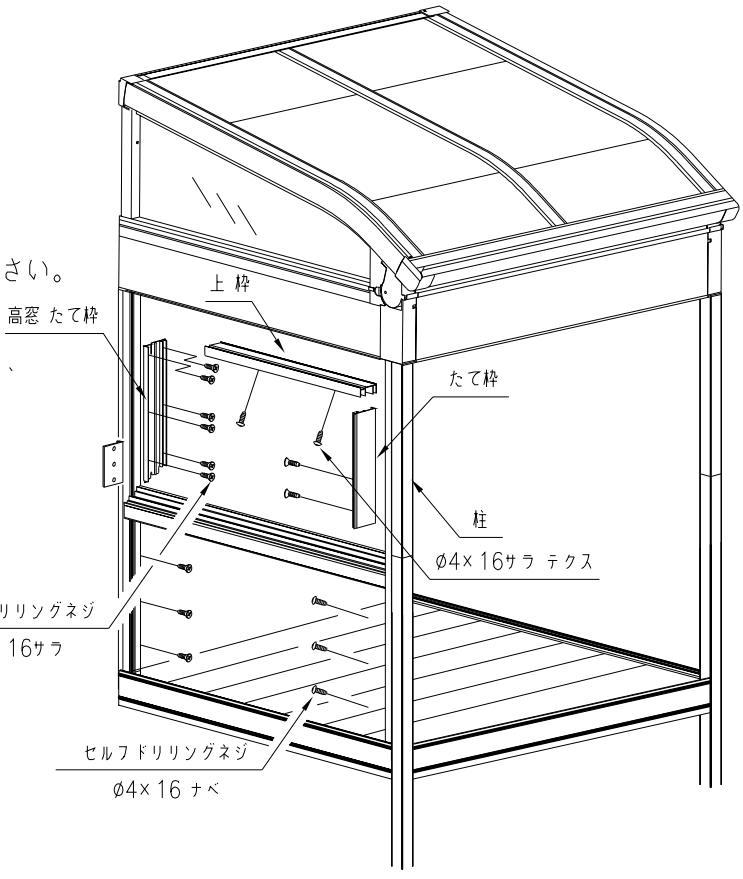
11.高窓たて枠の取付（共通）

①たて枠を柱 及び 壁付たて枠に、
セルフドリリングネジ（φ4x16 ナベ）で
取付けて下さい。

②上枠を側面桁にφ4x16サラ テクスで止めて下さい。

③高窓 たて枠を斜めにしながら、中骨の上に置き、
上枠の溝に入れてセルフドリリングネジ
（φ4×16サラ）で取付けてください。

※ この時、高窓たて枠を止める テクスビスは
外側から先に縦方向へ止めて下さい。※
（たて枠のズレを出さない為です。）



12. 引違いストッパーの取付

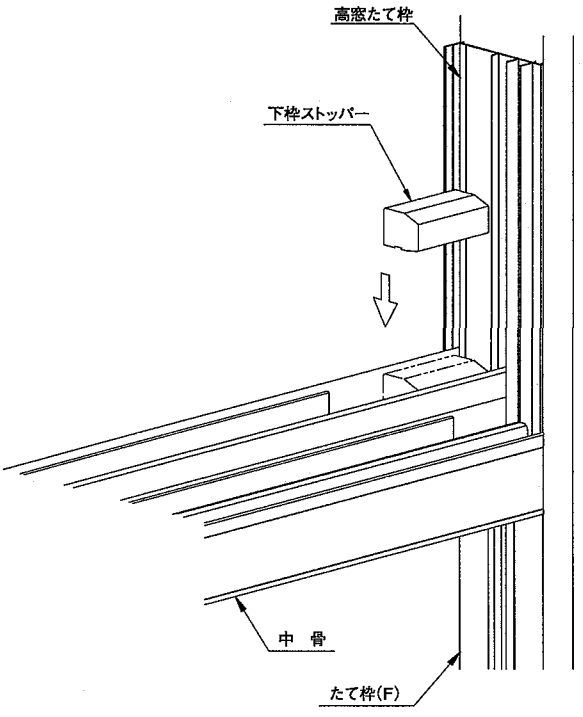
① 下枠ストッパーの取付

・前面テラス戸の下枠に下枠ストッパーを嵌め込んでください。

⚠注意 4枚引違い戸の場合は両端にストッパーが付きます。

・側面高窓の中骨に下枠ストッパーを嵌め込んでください。

⚠注意 高窓たて枠を取付ける前にストッパーを取付けると組立ができなくなります。



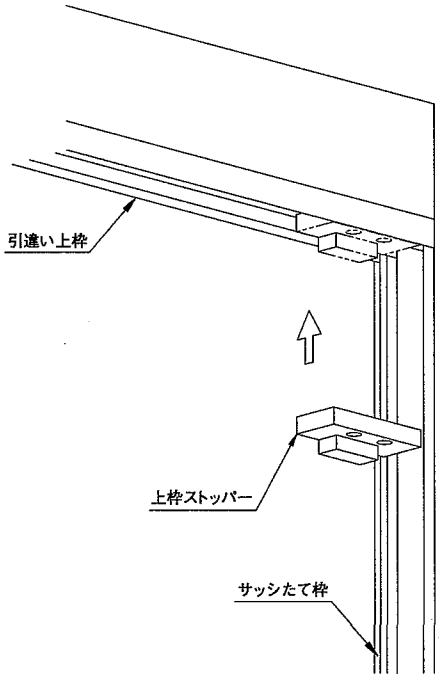
② 上枠ストッパーの取付

・前面テラス戸の上枠に上枠ストッパーを嵌め込んでください。

⚠注意 4枚引違い戸の場合は両端にストッパーが付きます。

・側面高窓の上枠に上枠ストッパーを嵌め込んでください。

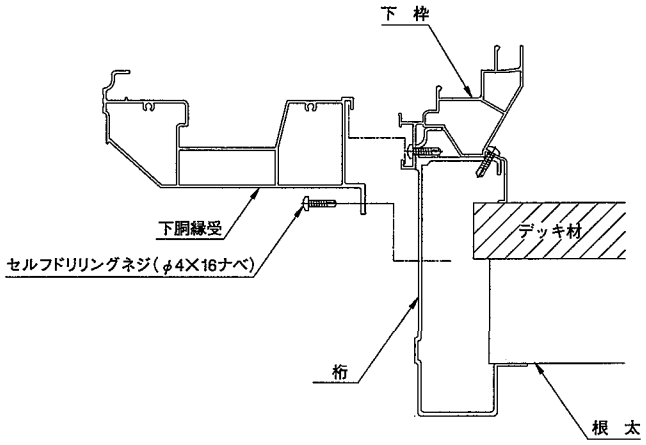
⚠注意 サッシたて枠を取付ける前にストッパーを取付けると組立ができなくなります。



13.下胴縁受けの取付（共通）

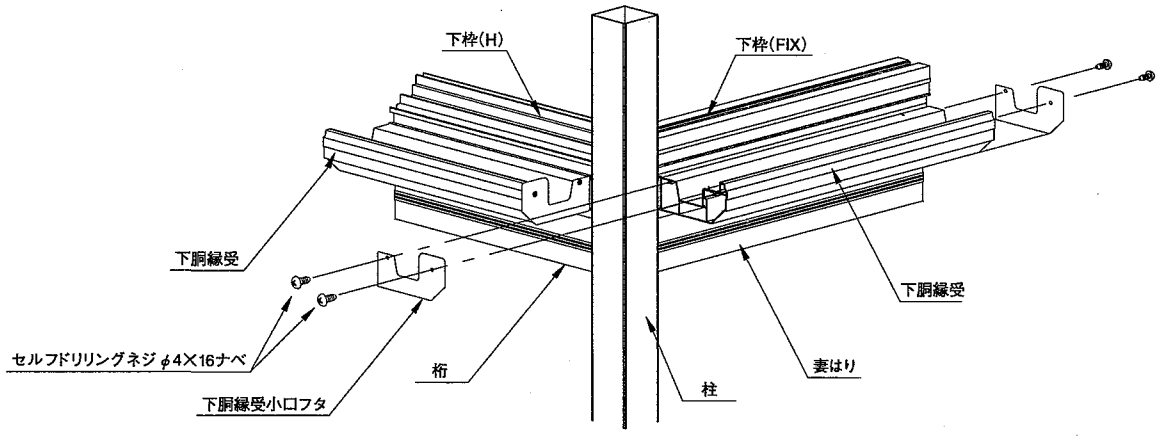
① 下胴縁受けの両小口に下胴縁受小口フタを
セルフドリリングネジ（φ4×16ナベ）
で取付けてください。

② 下枠(前面,妻面)の溝に下胴縁受のフィンを
差し込んでから、セルフドリリングネジ
（φ4×16ナベ）で取付けてください。

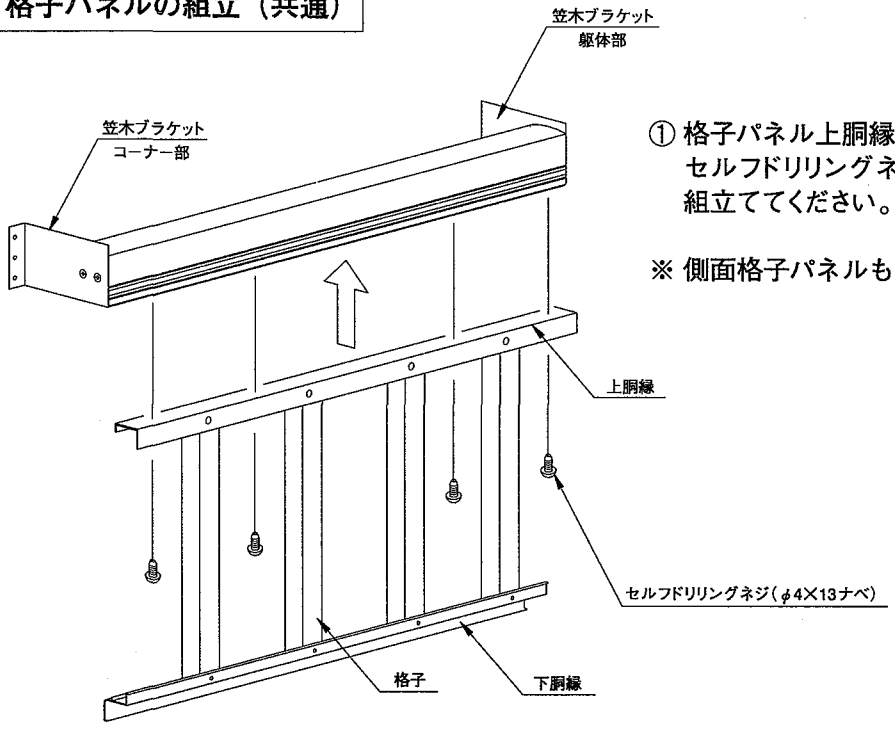


⚠注意

- 柱より出ない様に左右均等に取付けて下さい。
- 桁材が自重で下がらない様に少し持ち上げて、下胴縁受を取付けてください。



14. 格子パネルの組立（共通）

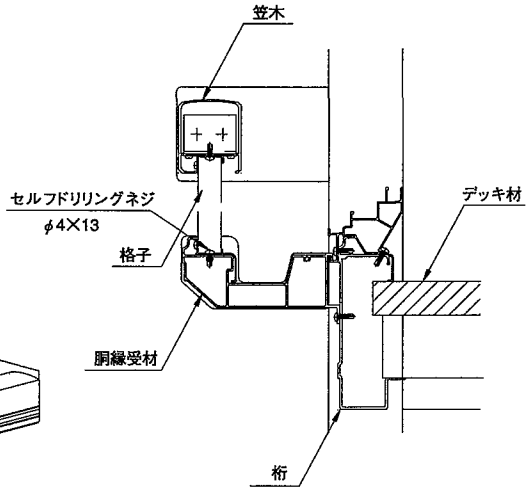


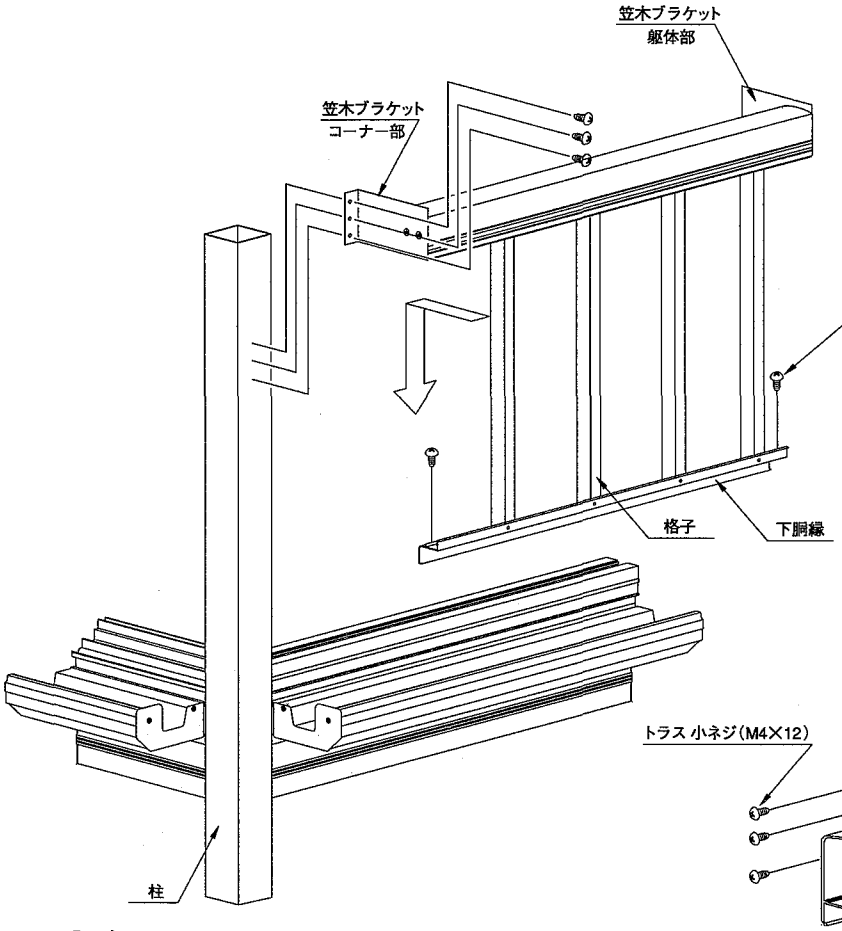
① 格子パネル上胴縁と、笠木を
セルフドリリングネジ（φ4×13ナベ）で
組立ててください。

※ 側面格子パネルも同様に組立てて下さい。※

15. 格子パネルの取付（共通）

① 格子パネルを 下胴縁受けの上に乗せてから、
笠木ブラケットをコーナー柱側は、φ4x16 ナベ で、
躯体側は、笠木ブラケット取付金具に M4x12 トラス
小ネジで取付けてください。

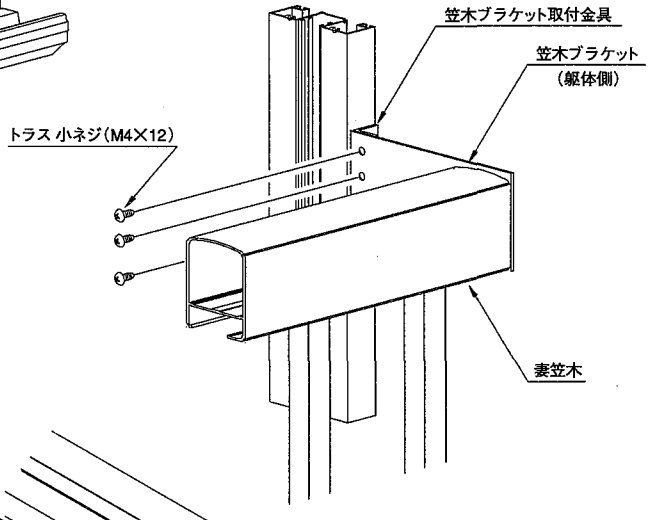




⚠注意

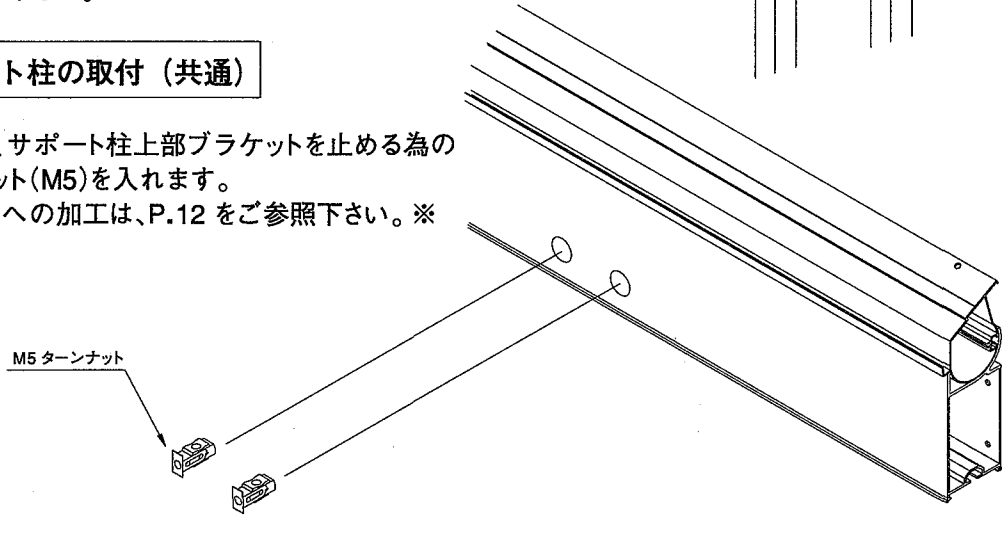
笠木が落下しない様に、ロープで
コーナー柱に固定した後、躯体側
から笠木ブラケットを止めて下さい。

② 格子パネル 下胴縁を、下胴縁受けに
セルフドリリングネジ φ4x13 ナベ で
止めて下さい。



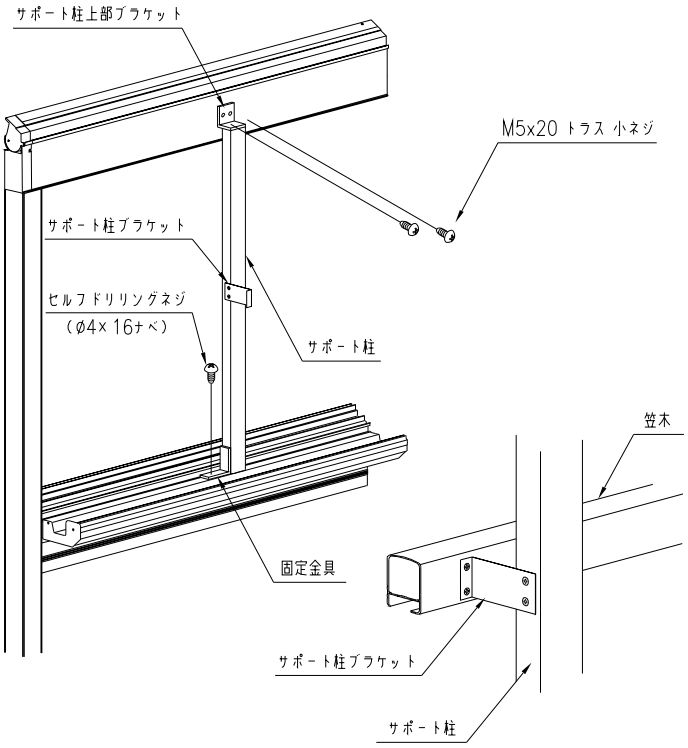
16. サポート柱の取付（共通）

① 補強桁に、サポート柱上部ブラケットを止める為の
ターンナット(M5)を入れます。
※ 補強桁への加工は、P.12 をご参照下さい。※



② サポート柱に取付けたブラケットを下胴縁受には
セルフドリリングネジ（φ4×16ナベ）で
補強桁には 小ネジ（M5x20 トラス ）で
取付けてください。

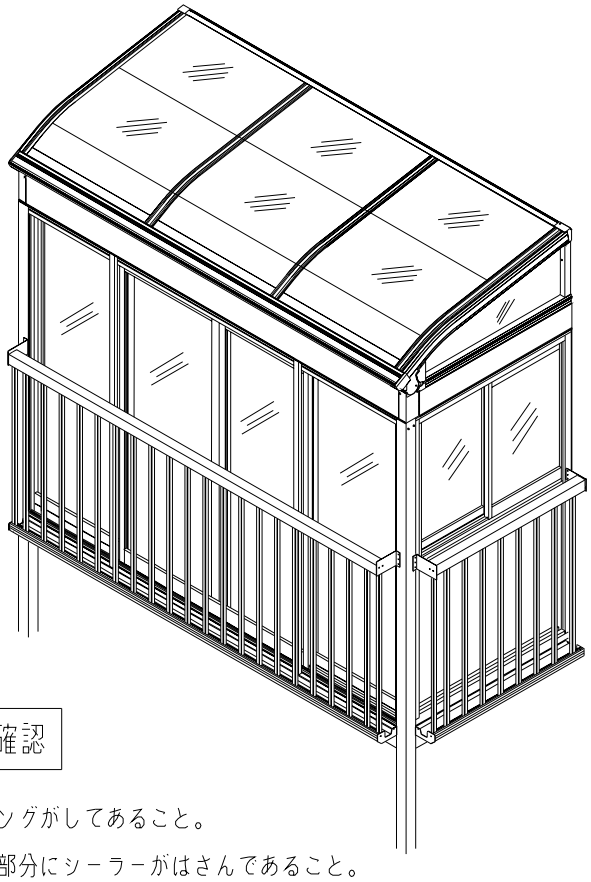
●下胴縁受材にはブラケットを取付ける
孔があけてあります。
●ブラケットは柱側にくるように
付けてください。



③ サポート柱ブラケットをサポート柱たわみ防止
のため笠木にセルフドリリングネジ（φ4×16ナベ）
で取付けてください。

17.引戸及びガラスの嵌め込み

●テラス戸及び高窓にグレチャンを使いガラスを入れて
バルフードに建て込んでください。
●妻面嵌め殺し部にセッティングブロックを置き
ガラスを後付けビードで嵌め込んでください。
●ガラス飲み込み寸法
嵌め殺し窓・・・・枠面より7mm
高窓、テラス戸・・・枠面より6mm



18.雨樋の取付

●雨樋のマニュアルを参照にして
組立ててください。

雨仕舞のための再確認

- 軀体まわりのコーキングがしてあること。
- たて材と横材の接合部分にシーラーがはさんであること。
- 下枠（FIX ）と外壁 及び 柱の間に、コーキング処理がしてあること。
- 下枠（FIX ）に水抜き孔の加工がしてあること。
- 押縁に水抜き加工がしてあること。
- たる木掛けの上に水切材がついていること。
- たる木カバー取付ビスに防水ワッシャーがついていること。

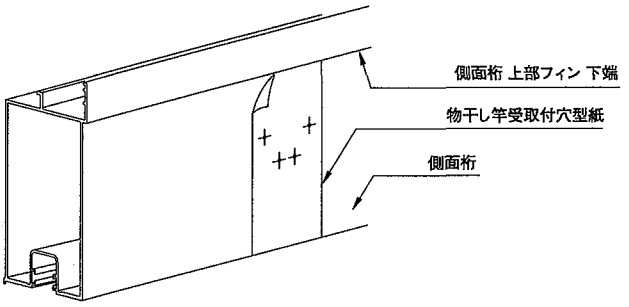
19. 物干しの取付

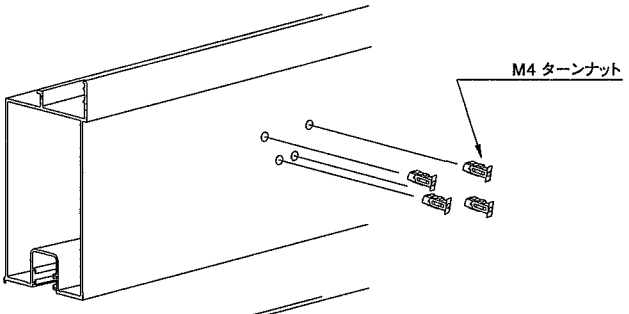
① 物干しの位置に下記の型紙を切り取って側面桁に当て、ポンチ等で孔のセンターを位置出ししてから、M4ターンナット用 ϕ8 の下孔を4ヶ所あけて下さい。

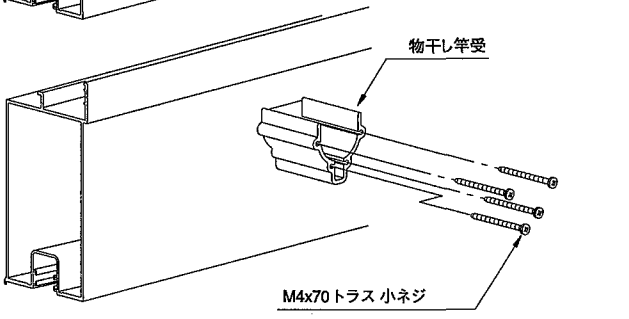
② あけた下孔に、M4ターンナットを入れます。

③ 物干し竿受けをトラス 小ネジ (M4×70) で側面桁に取付けてください。

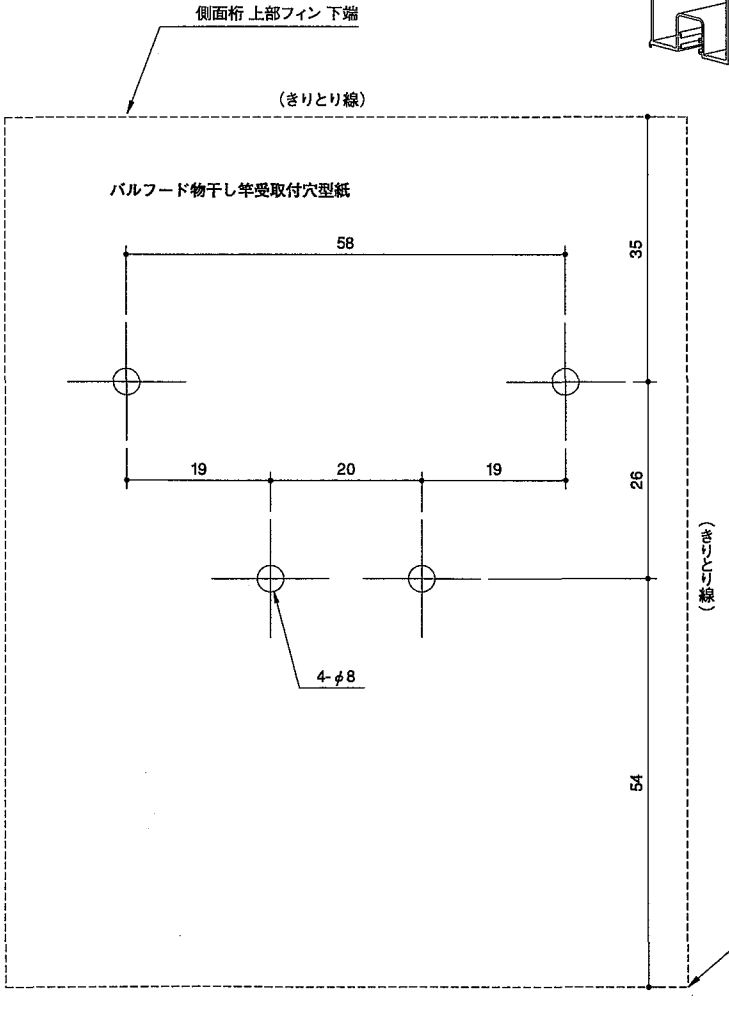
④ 竿受けに専用物干し竿を掛けてください。

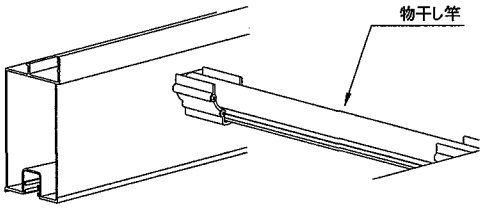




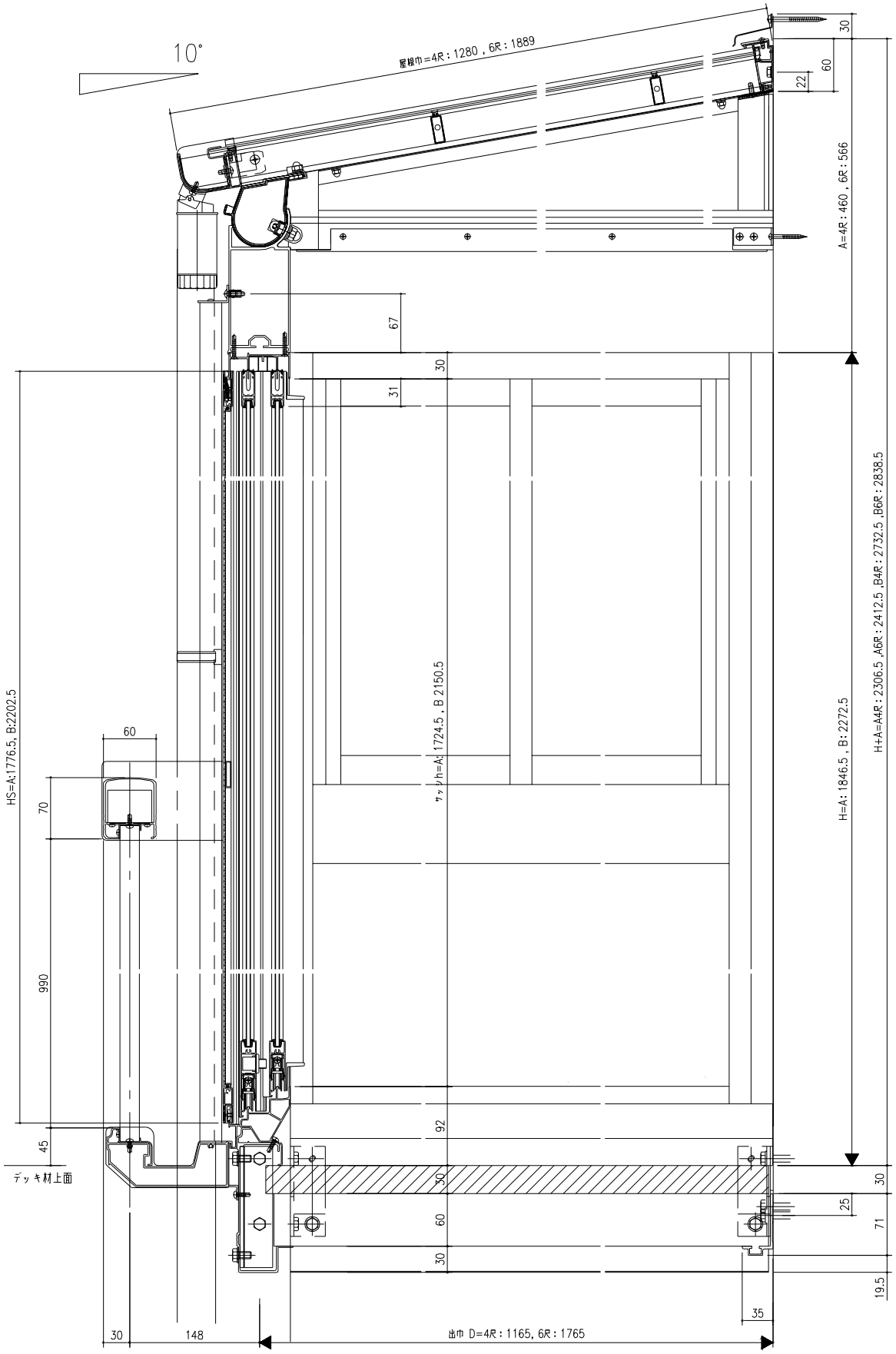


⚠注意 連棟の場合取付けはできません。

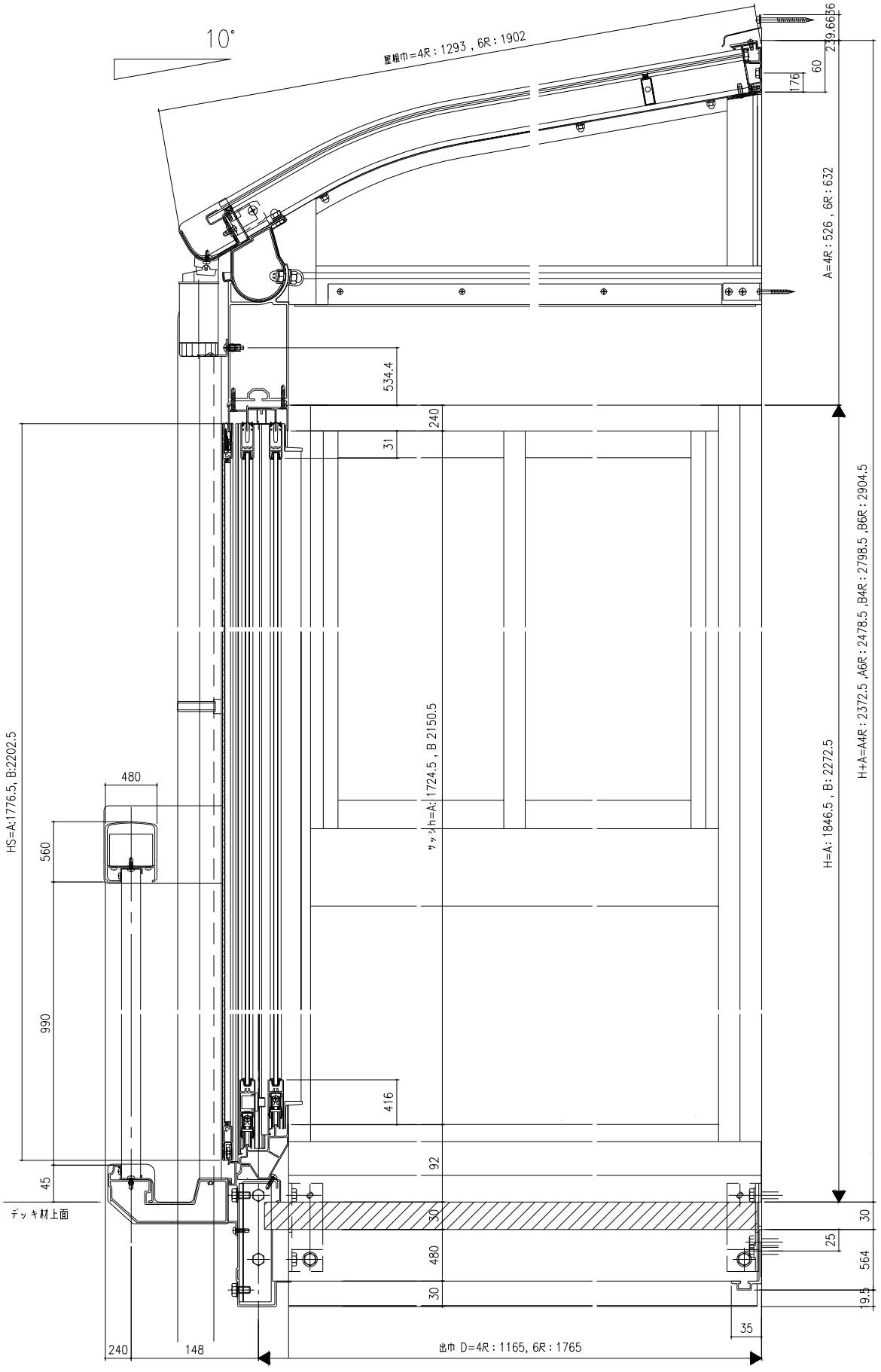




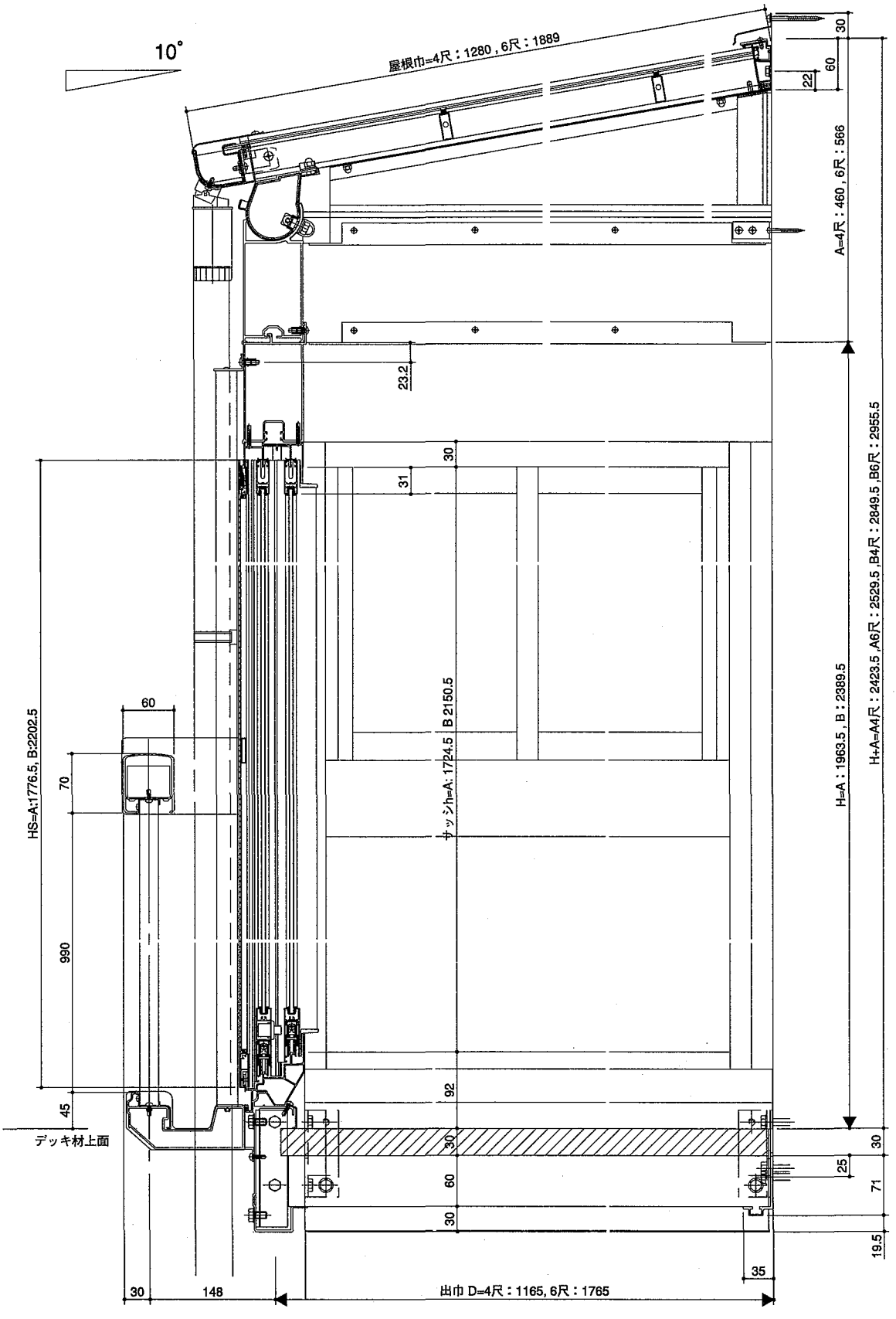
▨ F型（一般タイプ）基本納まり図



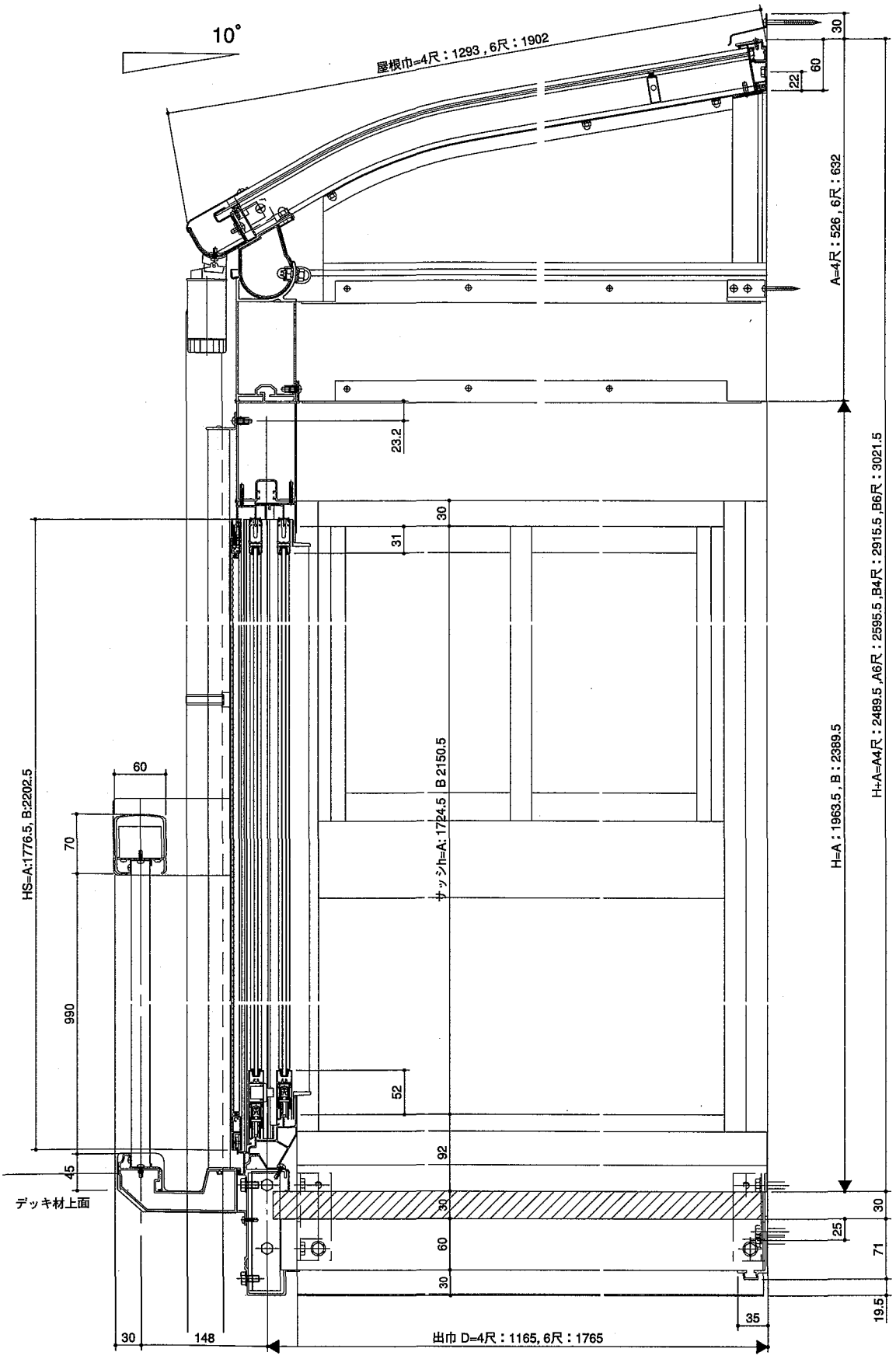
R型（一般タイプ）基本納まり図



■ F型（積雪タイプ）基本納まり図

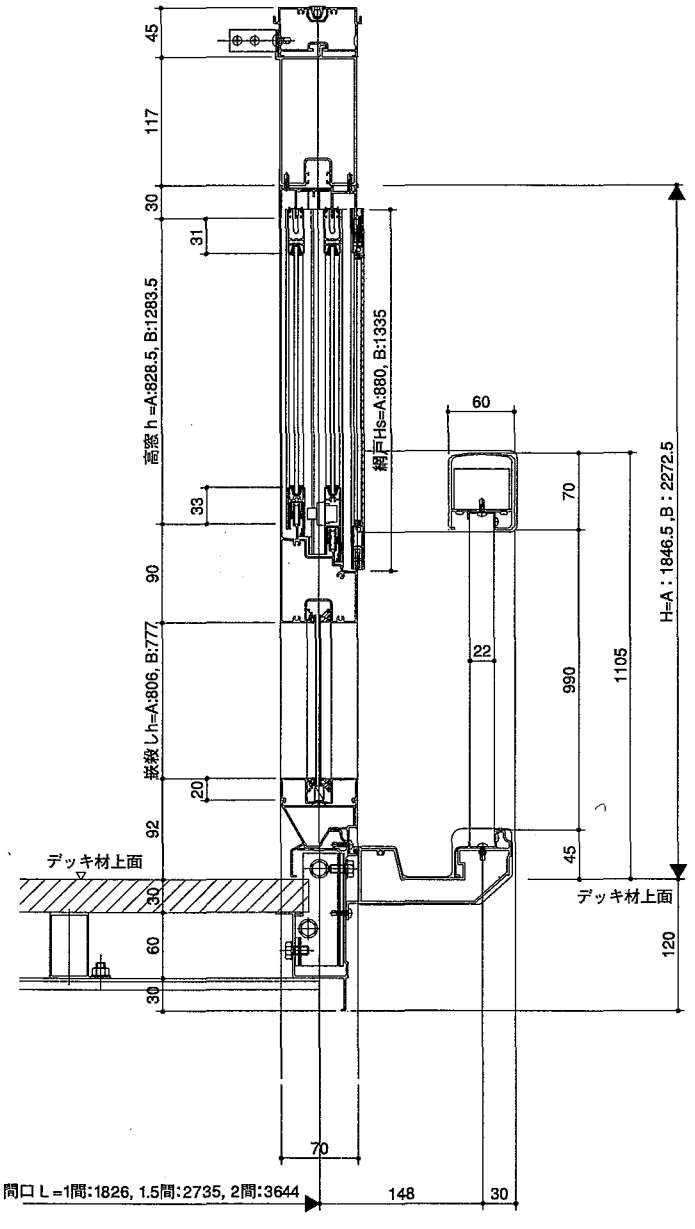


■ R型（積雪タイプ）基本納まり図

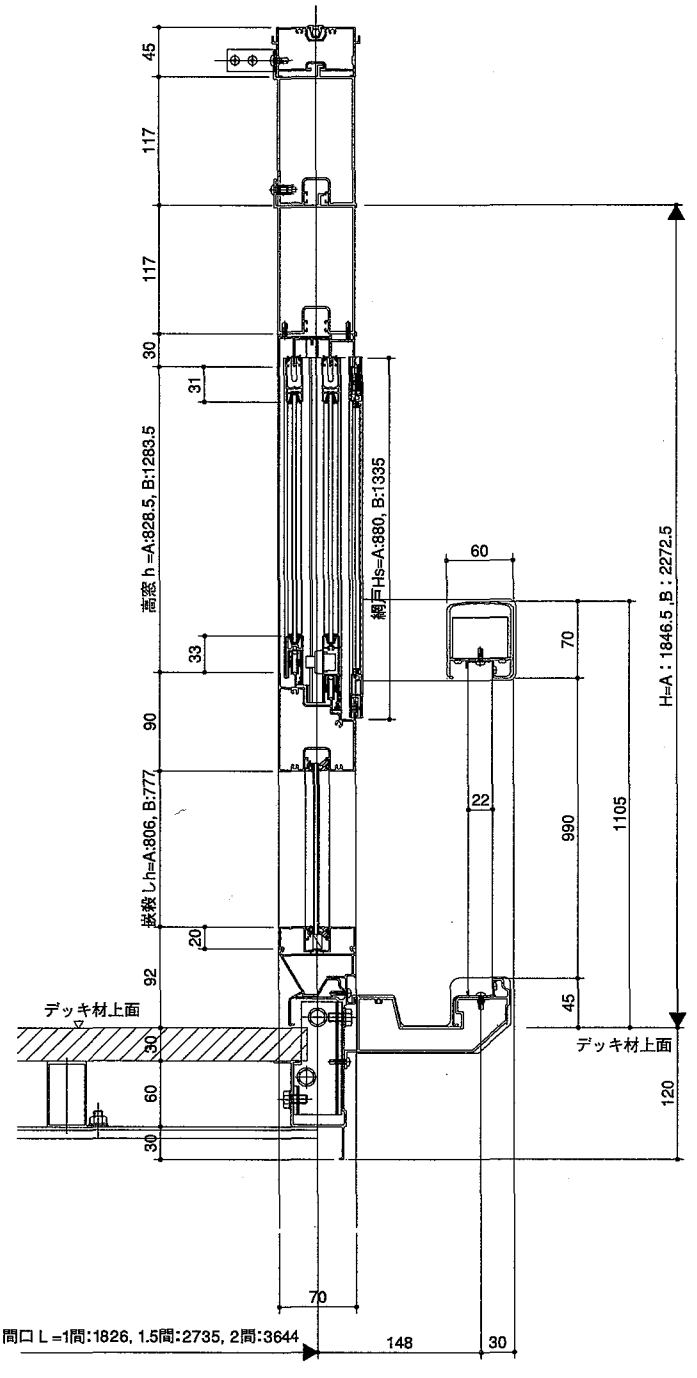
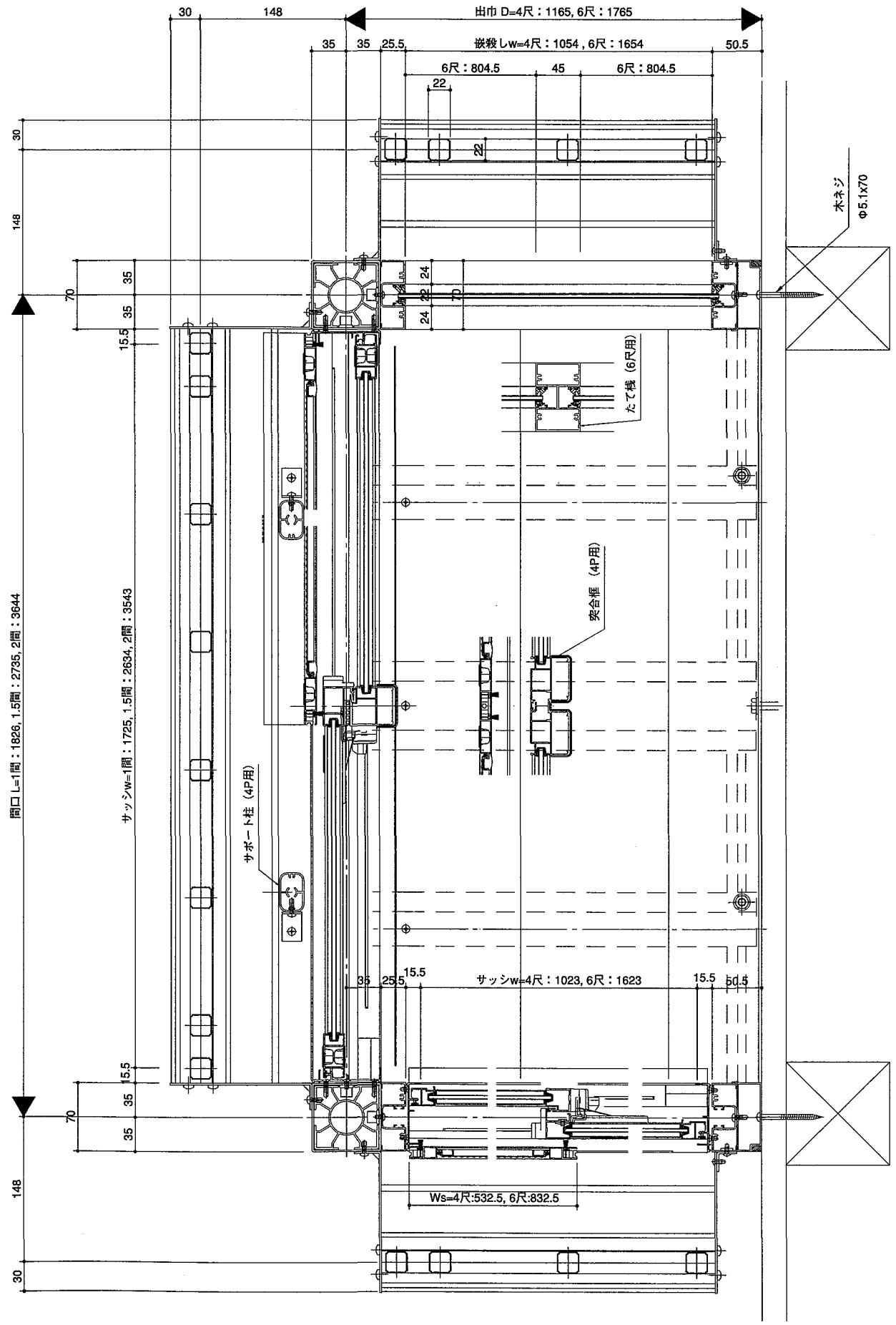


■ F型・R型基本納まり図（一般タイプ・積雪タイプ）縦断面図

一般タイプ



積雪タイプ



■ F型・R型基本納まり図（一般タイプ・積雪タイプ）横断面図